

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

2025年3月期 第3四半期
決算説明レポート（書き起こし）

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 4417
2025年1月

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（証券コード:4417）

2025年3月期 第3四半期 決算説明レポート

- 2025年3月期 第3四半期 業績ハイライト
- 2025年3月期 第3四半期 事業別の業績概況
- 経営トピックス
- 2025年3月期 連結業績予想
- 成長戦略
- ESGの取組み

Summary

■ 2025年3月期 第3四半期 業績ハイライト

前年同期比大幅増収増益、累計・会計期間共に過去最高額を更新

売上高62.89億円（前年同期比+25.0%）、営業利益11.67億円（前年同期比+36.4%）
四半期純利益7.16億円（前年同期比+27.1%）

■ 2025年3月期 第3四半期 事業別の業績概況

全ての事業ドメインで成長が継続
顧客ターゲットごとのビジネス戦略に効果

■ 経営トピックス

日本サイバーセキュリティファンドが進展

セキュリティ企業を中心に出資者は21社に増加、出資先企業は近日決定
日本セキュリティ大賞2024特別賞を受賞

■ 2025年3月期 連結業績予想

通期予想達成に向け進捗は順調

売上高88億円（前期比+25.7%）、営業利益 15.84億円（前期比+42.3%）
営業利益率18.0%（前期比+2.1ポイント）

■ 成長戦略

年率25%の売上成長、成長の後ろ盾となるアライアンス戦略とファンド組成

準大手・中堅・中小企業のセキュリティニーズは加速しており年率25%の売上成長計画
アライアンス戦略と日本サイバーセキュリティファンドの拡大がさらなる成長を後押し





グローバルセキュリティエキスパート株式会社
代表取締役社長の青柳です。

本日はありがとうございます。
2025年3月期 第3四半期の決算状況を説明いたします。



| Agenda | | GSX www.gsxc.co.jp |
|--------|-------------------------|-----------------------|
| 1 | 2025年3月期 第3四半期 業績ハイライト | P 3 |
| 2 | 2025年3月期 第3四半期 事業別の業績概況 | P10 |
| 3 | 経営トピックス | P20 |
| 4 | 2025年3月期 連結業績予想 | P25 |
| 5 | 成長戦略 | P29 |
| 6 | ESGの取組み | P37 |
| 7 | Appendix | P39 |

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 2

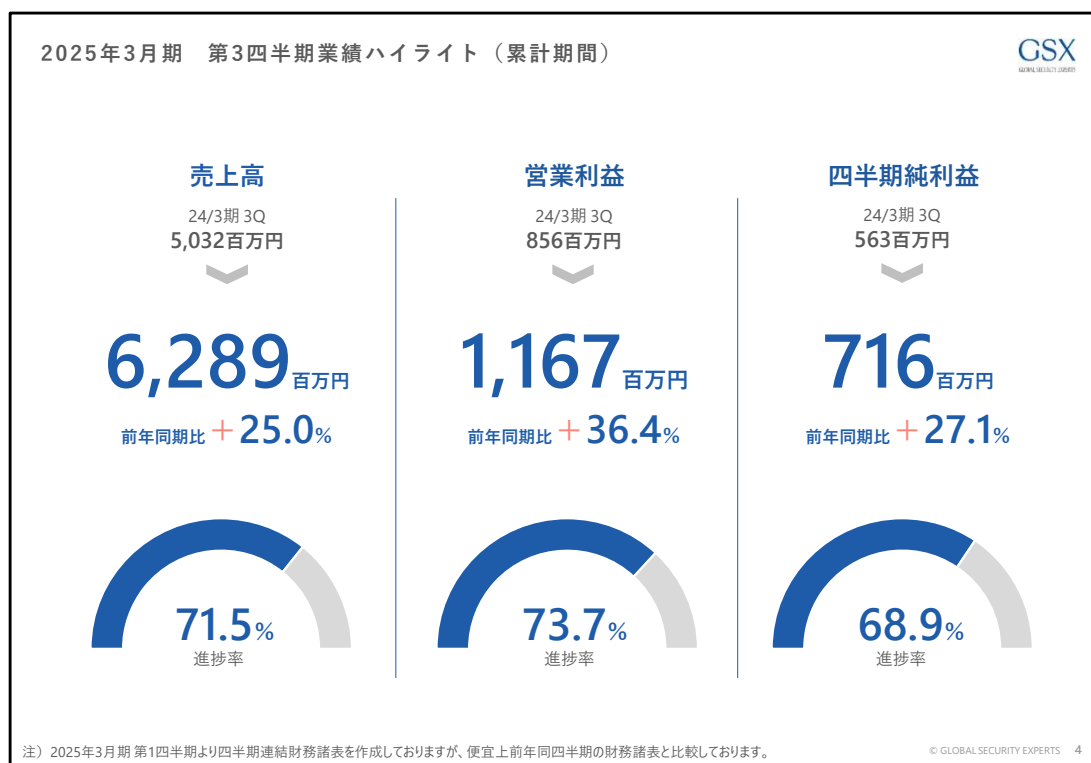
アジェンダは画面の通りです。
6番の「ESGの取組み」までお話しします。





それでは、2025年3月期第3四半期業績について説明いたします。





第3四半期累計ですが、

売上高は、前年同期比25.0%増の62億8,900万円、
営業利益は、前年同期比36.4%増の11億6,700万円、
四半期純利益は、前年同期比27.1%増の7億1,600万円となりました。

通期目標に対する進捗率は売上高71.5%、営業利益73.7%、四半期純利益68.9%
です。



2025年3月期 第3四半期業績ハイライト GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

総括

- ✔ 前年同期比**大幅増収増益** 累計・会計期間共に**過去最高額を更新**
- ✔ 2025年3月期 業績予想達成に向け、順調に進捗
- ✔ 「準大手・中堅・中小企業向けセキュリティサービス」
「IT企業・SIer向けセキュリティ人材育成」「あらゆる企業向けセキュリティ人材提供」
顧客ターゲットごとのビジネス戦略により**すべての事業ドメインで業績伸長**

四半期純利益への影響

- ✔ 当事業年度より連結決算へ移行
持分法適用会社の利益偏重が、四半期純利益の前年同期伸長率に影響するも
投資損失幅は上期と比較して大きく縮小

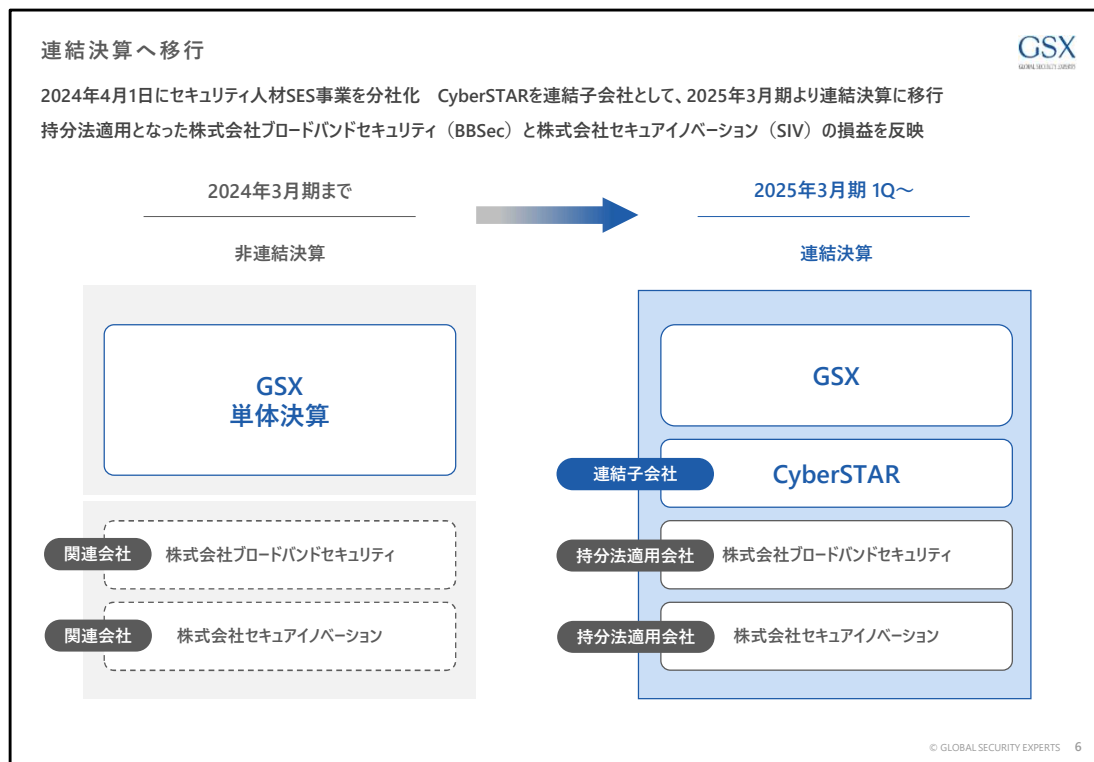
© GLOBAL SECURITY EXPERTS 5

ハイライトとしては、前年同期比いずれも増収増益であり過去最高額を更新しました。

第2四半期決算で、一過性の費用発生により少し利益伸長が軟調になったものの、当第3四半期決算では年間の予算達成に向けて順調に進捗しております。そして、全ての事業ドメインで業績は伸長しております。

また、四半期純利益は今期から連結決算に移行し、持分法適用会社の利益偏重による影響はあるものの、投資損失は上期に比べて大きく縮小しております。



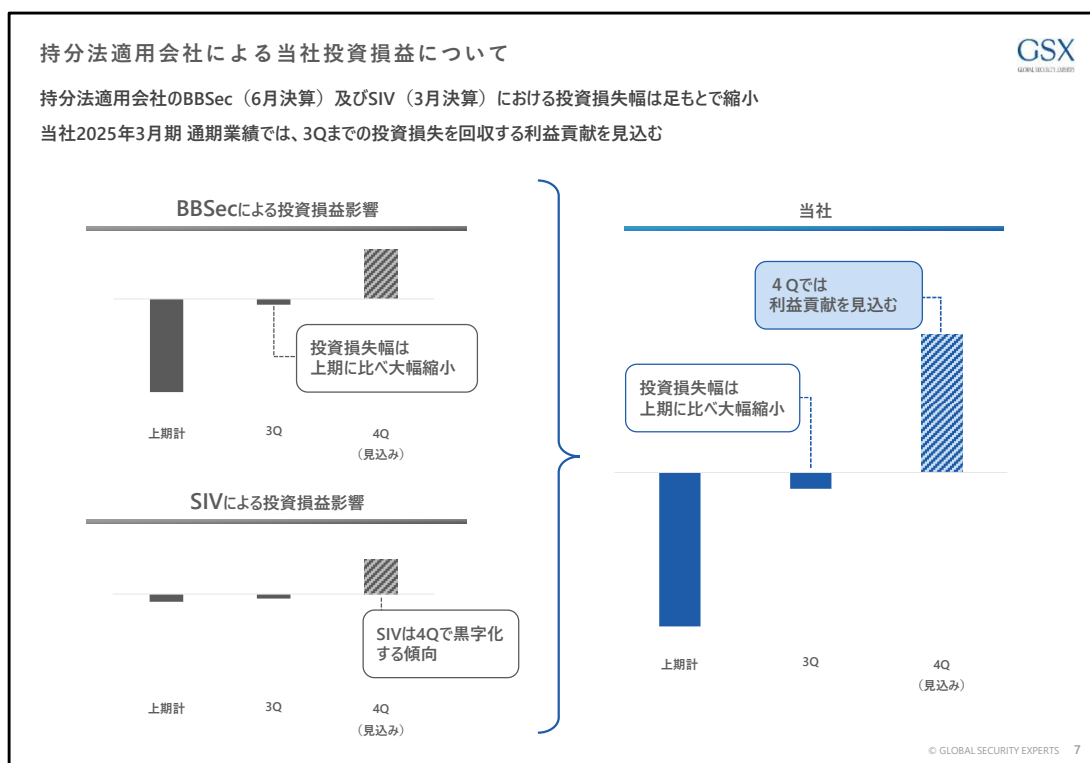


続いて、連結決算への移行に伴う経常利益、純利益に関わる数字です。

当社は今期から連結決算に移行し、100%子会社であるCyberSTAR社に加え、20%以上を保有しているブロードバンドセキュリティ社、セキュアイノベーション社の持分損益が経常利益に影響しております。

次のページでご説明します。





持分法適用の2社はブロードバンドセキュリティ社とセキュアイノベーション社です。両社合計で上期は大きな投資損失が発生したものの、当第3四半期では投資損失が大幅に縮小しており、第4四半期では利益貢献を見込んでおります。





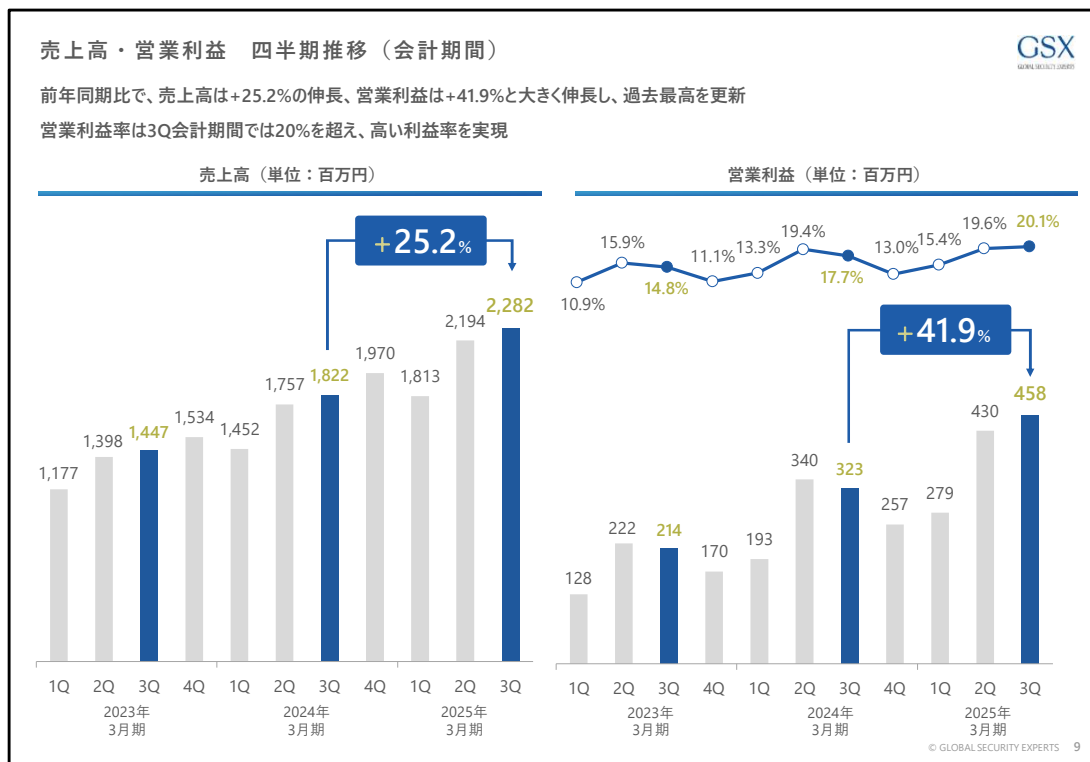
ブロードバンドセキュリティ社、セキュアイノベーション社とは将来的な投資収益面での期待はもちろんのこと、同じセキュリティ業界としての事業シナジー効果も大きく期待し、資本業務提携をしております。それぞれの顧客に対して、各サービスのアップセル・クロスセルを図っていきます。

セキュリティビジネス業界の課題として、コンサルティングや、ホワイトハッカーによる脆弱性診断のリソース不足が挙げられます。また、エンドユーザー様によっても実施したい時期が異なります。

そのような課題に対しても、当社は同業会社と提携することで、人的リソースの柔軟な融通が可能であり、機会損失を大幅に減らすことができます。

更に、両社の技術者の多くに当社の教育コンテンツを受講いただいているので、技術的なレベル感もしっかりと理解しており、連携が年々しやすくなっております。





第3四半期会計期間の業績です。

売上高は25.2%増、営業利益は41.9%増となり、こちらも順調に伸長しております。





2025年3月期 第3四半期 事業別の業績概況

続いて、事業別の業績です。先に3つのビジネスを簡単にご紹介します。

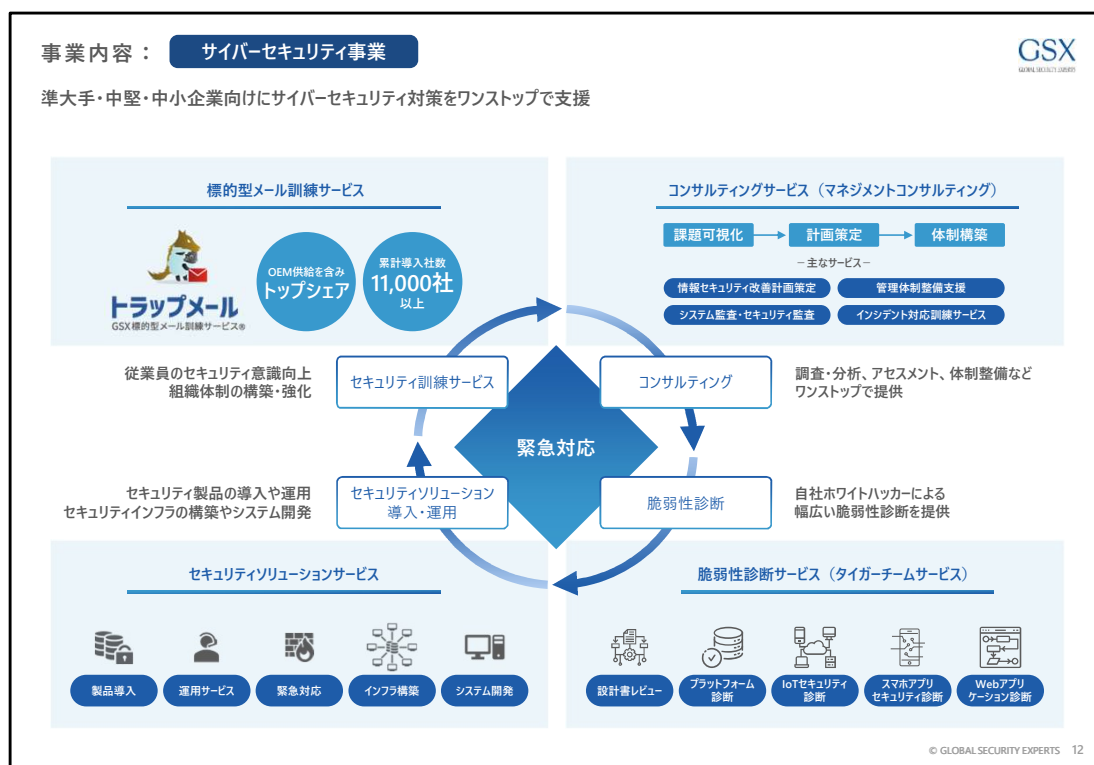




当社には3つの事業ドメインがあります。

左から順に、準大手・中堅・中小企業向けにサービスを提供するサイバーセキュリティ事業、IT企業・Slerに教育を提供するセキュリティ教育事業、エンドユーザーやIT会社を問わず全てのお客様にセキュリティ人材を提供するセキュリティ人材事業、この3つのドメインです。





サイバーセキュリティ事業は、準大手・中堅・中小企業を対象としており、セキュリティ対策の進んでいる大企業がターゲットではないという点が、当社ビジネスの重要なポイントです。

資料中心にあるように、当社は緊急対応・コンサルティング・脆弱性診断・教育・ソリューションの提供まで行います。

準大手・中堅・中小企業がセキュリティ対策で困ること。例えばマルウェア感染・Webサーバーへの不正アクセスによる情報漏洩時の緊急対応、企業がやるべきセキュリティポリシーの策定や、今後のセキュリティ方針決定をつかさどるセキュリティコンサルティング、Webサーバーに対して脆弱性がないか疑似ハッキングして探す脆弱性診断、従業員教育など、全てを行います。

そして、従業員教育やコンサルティングの結果として、ソリューションが必要な場合は、当社でソリューションを提供し、その運用も当社が請け負います。

サイバーセキュリティに関して、お客様が必要とする全てのサービスを当社が提供できるので、お客様にどのサービスからご利用いただいても、お付き合いが続くサービスサイクルができております。



事業内容： **セキュリティ教育事業** GSX
www.gsxcert.com

IT企業・Sler向けにセキュリティ領域の教育を実施、IT人材の付加価値向上を支援する



IT企業・Sler

+



セキュリティ教育

- ・エンジニアのセキュリティ水準向上
- ・高度なセキュリティ人材の増加

当社オリジナル IT人材/非セキュリティ人材向け教育メニュー



SecurIS!

累計受講者数 8,698名 (24/3末時点)

| | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 認定Webアプリケーション脆弱性診断士 受講料金：22万円 | セキュアWebアプリケーション設計士 受講料金：13.2万円 |
| 認定ネットワーク脆弱性診断士 受講料金：22万円 | ゼロトラストコーディネーター 受講料金：8.8万円 |

セキュリティ人材向け教育メニュー



EC-Council

国際的なセキュリティ資格 累計受講者数 5,956名 (24/3末時点)

| | |
|--|-----------------------|
| 主なコース例 CND 認定ネットワーク ディフェンダー | CEH 認定ホワイトハッカー |
| 受講料金 | 約32万円 |
| | 約54万円 |

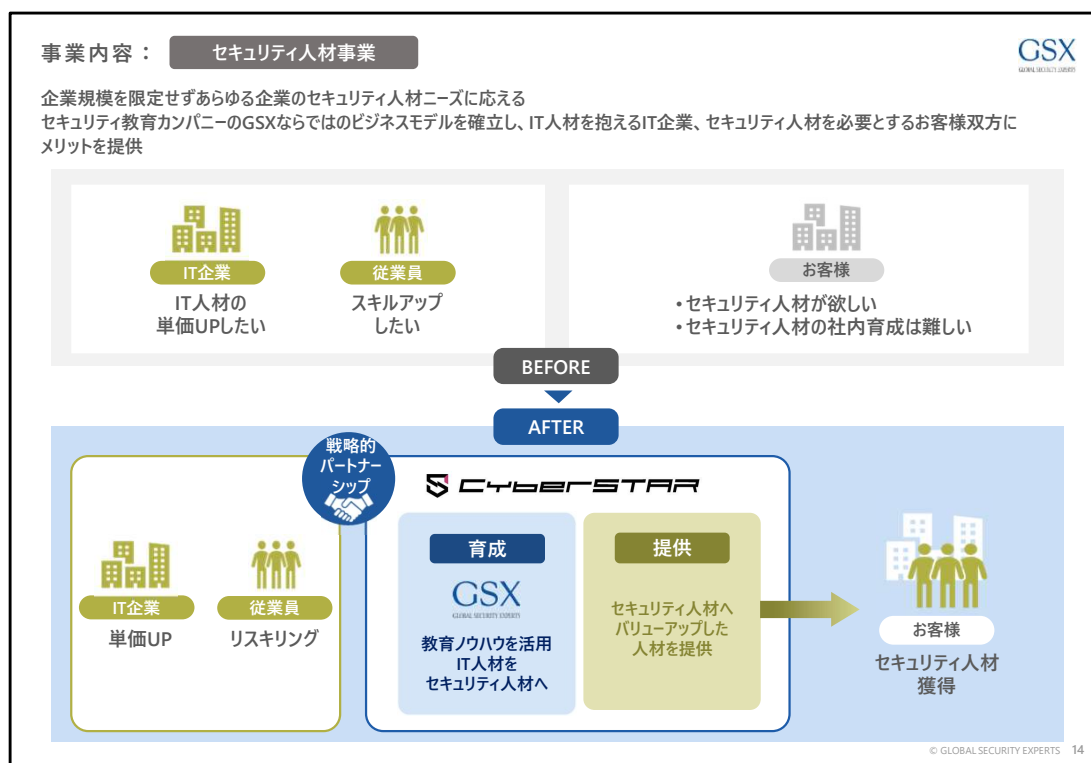
© GLOBAL SECURITY EXPERTS 13

2つ目はセキュリティ教育事業です。特にIT企業やSlerの技術者に対してセキュリティ教育を提供しております。

インフラネットワークや開発、クラウドサービスの技術者を抱えている企業では、自社のエンジニアにセキュリティのノウハウや知識をつけさせたいというニーズが旺盛です。

このビジネスが大きく伸長した理由は、ターゲットをセキュリティ業界のエンジニアに限定せず、IT業界全体を対象にしたセキュリティ教育コンテンツを豊富に有していることが、功を奏しております。





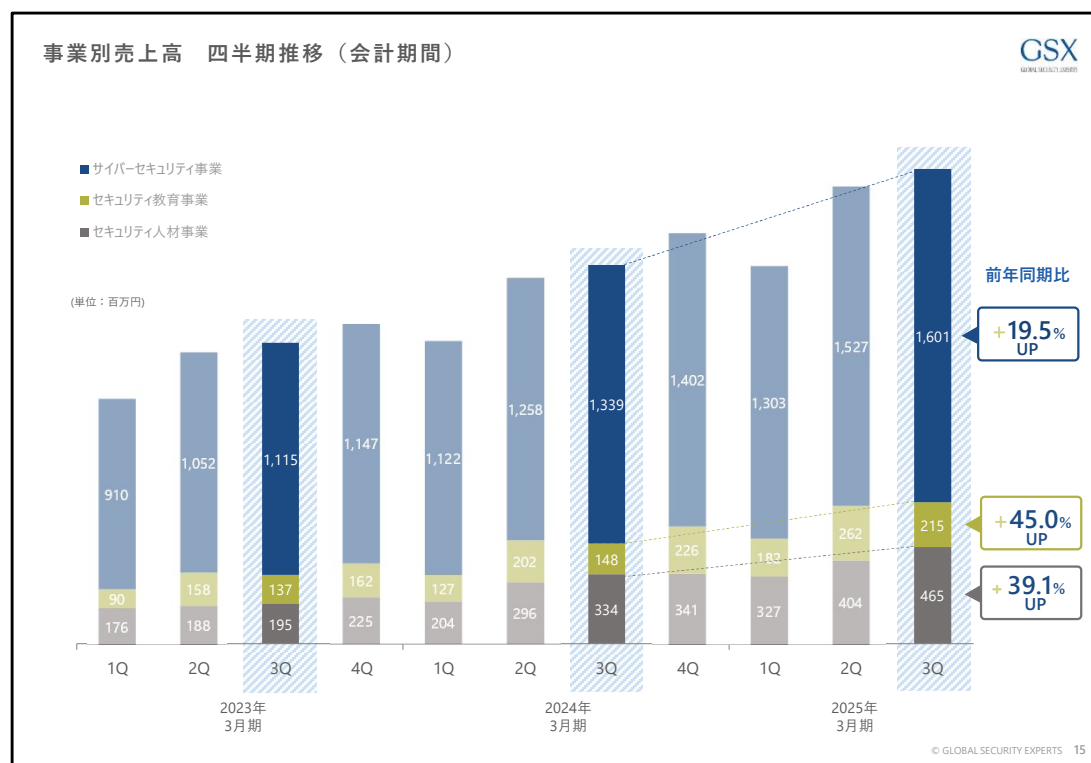
3つ目がセキュリティ人材事業です。

この事業は、SIerを手掛けるパートナー企業と戦略的に契約し、パートナー企業の人材を当社が3か月から6か月間お預かりをして、セキュリティトレーニングや資格取得、OJTを行い、セキュリティエンジニアとして単価が上がった状態で、お客様先に提供するビジネスモデルです。

お客様はセキュリティ人材が不足しております。また、セキュリティ人材のみを常駐させられる企業もほとんどありません。

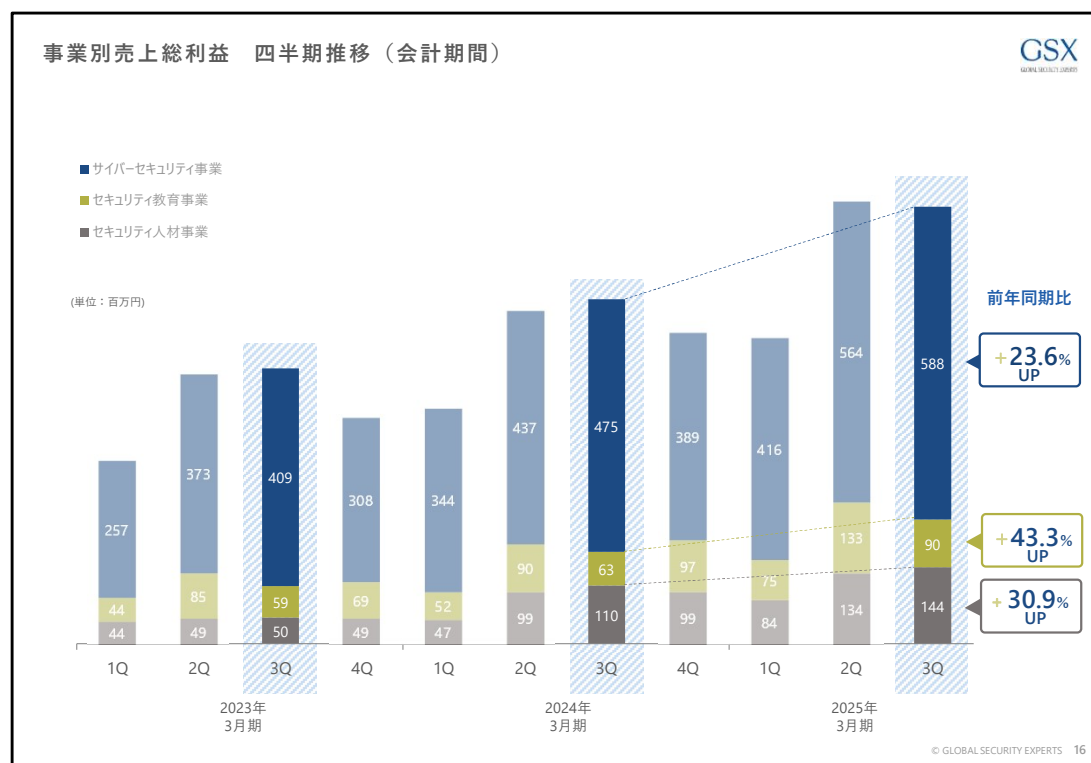
当社は、セキュリティ教育会社であり、セキュリティ人材を育成することができるので、このビジネスモデルを作り上げることができました。他にはないモデルですので、この事業も大きく成長を遂げると確信しております。





当第3四半期会計期間の各事業の前年同期比です。どの事業もしっかりと成長しております。安定的に成長するサイバーセキュリティ事業、成長著しいセキュリティ教育事業、セキュリティ人材事業の三つを組み合わせ、会社全体で成長できていると考えております。





各事業の売上総利益です。こちらも順調に成長をしております。



P/L (累計期間)

売上高、利益ともに高成長を継続、営業利益率は18.6%と前年同期比で1.6ptUP

| (百万円) | 2024/3期 3Q実績 | 2025年/3期 3Q実績 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|------------|-----------------|------------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 5,032 | 6,289 | +1,257 | +25.0% |
| 売上総利益 | 1,683 | 2,217 | +533 | +31.7% |
| 売上高総利益率 | 33.5% | 35.3% | +1.8pt | - |
| 販売費・一般管理費 | 827 | 1,049 | +222 | +26.8% |
| 販売費・一般管理费率 | 16.5% | 16.7% | +0.2pt | - |
| 営業利益 | 856 | 1,167 | +311 | +36.4% |
| 営業利益率 | 17.0% | 18.6% | +1.6pt | - |
| 経常利益 | 848 | 1,103 | +255 | +30.1% |
| 経常利益率 | 16.9% | 17.6% | +0.7pt | - |
| 当期純利益 | 563 | 716 | +152 | +27.1% |
| EPS (円) | 75.56 | 95.33 | +19.77 | - |

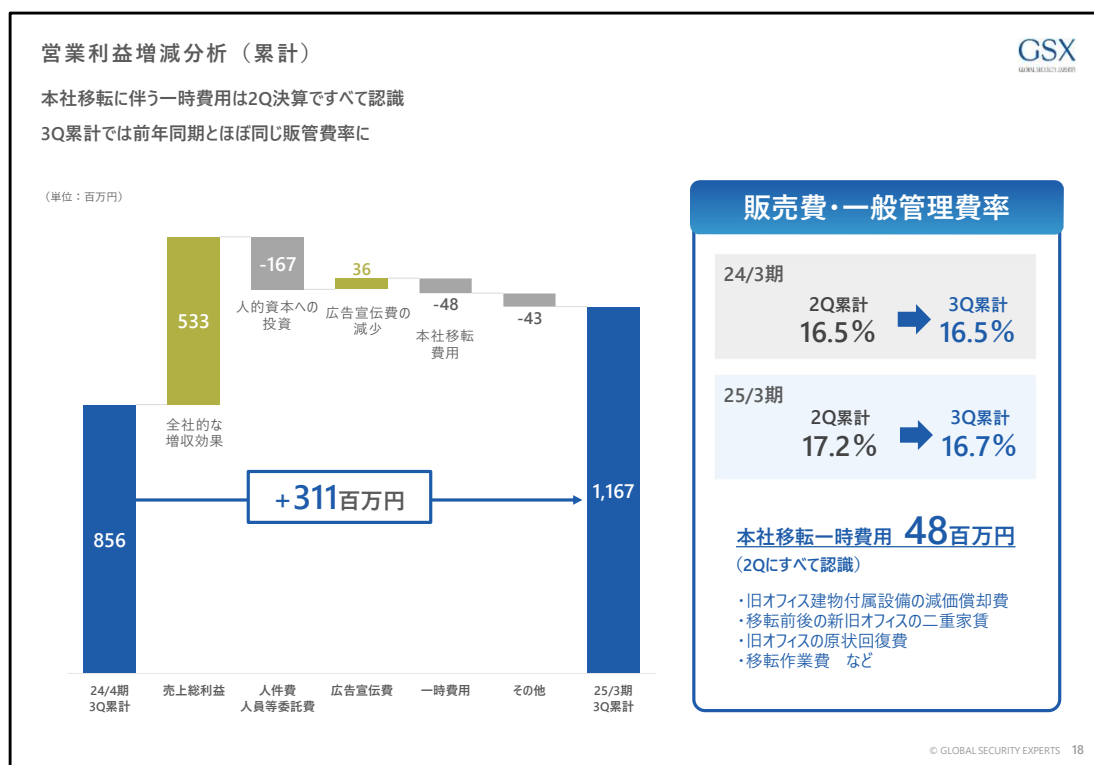
注) 2025年3月期 第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、便宜上前年同期四半期の財務諸表と比較しております。

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 17

損益計算書です。

重要視している売上総利益率は前年同期比でプラス1.8%と、しっかり成長をしております。





営業利益増減分析です。第2四半期決算でご説明した通り、本社移転に伴う一時費用は、第2四半期にすべて認識したもので、当第3四半期累計での販管費率は例年同等に戻っております。年間の営業利益達成に向け、順調に推移しております。



B/S

GSX
www.gsxc.co.jp

| (百万円) | 2024/3期 | 2025/3期 3Q | 前期比 増減 | 前期比 増減率 |
|---------------|---------|------------|-----------|------------|
| 流動資産 | 3,713 | 3,910 | +196 | +5.3% |
| 現金及び預金 | 1,233 | 858 | -374 | -30.4% |
| 売掛金及び契約資産 | 1,486 | 1,893 | +406 | +27.3% |
| その他 | 993 | 1,157 | +164 | +16.6% |
| 固定資産 | 2,823 | 3,300 | +476 | +16.9% |
| 有形固定資産 | 31 | 284 | +253 | +814.0% |
| 無形固定資産 | 139 | 109 | -29 | -21.6% |
| 投資その他の資産 | 2,653 | 2,906 | +253 | +9.6% |
| 資産合計 | 6,536 | 7,210 | +673 | +10.3% |
| 流動負債 | 2,489 | 2,993 | +504 | +20.3% |
| 買掛金 | 354 | 300 | -54 | -15.2% |
| 短期借入金 | - | 400 | +400 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 219 | 219 | 0 | - |
| その他流動負債 | 1,915 | 2,073 | +158 | +8.3% |
| 固定負債 | 1,613 | 1,475 | -138 | -8.6% |
| 長期借入金 | 1,527 | 1,363 | -164 | -10.8% |
| その他固定負債 | 85 | 111 | +26 | +30.8% |
| 純資産 | 2,433 | 2,741 | +307 | +12.6% |
| 自己資本比率 | 37.2% | 38.0% | +0.8pt | - |

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 19

貸借対照表はご覧いただいている通りです。





続いて経営トピックスをお話いたします。



日本サイバーセキュリティファンドにおける進捗状況と取り組み

セキュリティファンドは業界内で多くの賛同を得てL.P.を拡大



セキュリティファンド進捗状況



L.P.
(ファンドへ出資する投資家)

- 第2弾募集完了、現在第3弾募集期間
- セキュリティ企業を中心に21社参加

出資



日本サイバーセキュリティファンド

リターン



出資先企業
近日決定予定

関連の取り組みやイベント

2024年10月22日
JAPANSecuritySummit 2024、オープニングDayにて代表取締役社長青柳が講演



当社戦略やファンド立ち上げの経緯についてプレゼン

2024年10月29日
日本セキュリティ大賞2024にて特別賞を受賞



ファンドの紹介や取り組みについて産官の様々な方と意見交換

2024年12月11日
出資参加社が一堂に会し定期情報交換会を開催



市況やL.P.の募集状況、出資先の検討状況など幅広い情報提供

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 21


今期から注力している日本サイバーセキュリティファンドが、関係各社のご支援を受け、大きく進捗してきました。このファンドはセキュリティ事業を行っている会社だけが出資をし、セキュリティ会社にしか出資をしないファンドです。





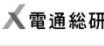














出資先企業も近々決定される時間軸となってきております。また、資料右側の通り、様々なメディアやイベントで取り上げられたり、年末には日本セキュリティ大賞特別賞も受賞しました。



L.P.企業

GSX
www.gsxc.com

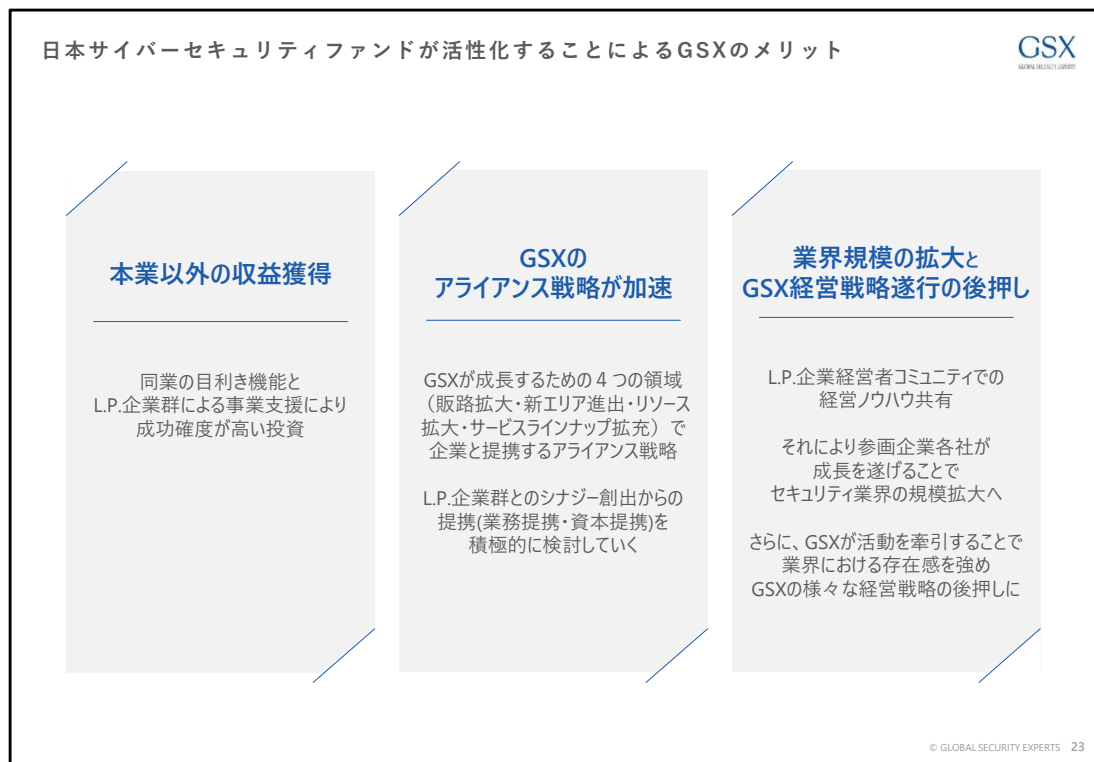
 **NCSF**
日本サイバーセキュリティファンド

| | | | | | |
|-------------------|---|---|---|---|--|
| 商社 | 総合商社  | IT商社  | | | |
| システム インテグレーション | 開発・SI  | Sler  | Sler  | コンサル・SI  | |
| コンサルティング | セキュリティコンサル (大手・準大手)  | セキュリティコンサル (準大手・中堅)  | | | |
| 役務・サービス | ソフトウェア テスト  | ソフトウェア テスト  | セキュリティ 運用サービス  | IT運用サービス  | シェアード社員  |
| ディストリビューター | ディストリ ビューター  | ディストリ ビューター  | | | |
| メーカー | セキュリティ ログツール  | AI診断ツール  | アプリケーション ファイアウォール  | AI顔認証  | 迷惑電話・SMS・ 広告ブロック  |
| | | | | | セキュリティ 証明書  |

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 22

現在セキュリティファンドに出資している企業様も21社になり、今後も増える見込みです。セキュリティの各分野の会社様がどんどん参画している状況なので、出資者同士の業界連携も強くなってくると考えております。





日本サイバーセキュリティファンドが活性化することで、当社には3つのメリットがあります。

1つ目として、同じ業界に出資をし、出資者の多くの企業がその投資先企業を全面的に応援します。ベンチャーキャピタルという側面から、同業会社による目利き機能と業界応援を受けることで、成功する確度は高いと考えており、当社にとっては本業以外の収益源になります。

また2つ目として、当社のアライアンス戦略が加速します。出資企業群とのシナジー創出や業務提携・資本提携を積極的に検討していきます。

更に3つ目として、出資企業群の経営者同士のコミュニケーションが能動的に行われ、経営課題や経営戦略・ノウハウを共有することで各社の成長に寄与し、セキュリティ業界の規模やプレゼンス拡大を目指します。そして、その活動を当社がけん引することで、業界における存在感を強め、今後の成長戦略のプラスとします。



IR活動の強化

事業成長に伴い、時価総額が拡大。国内外の機関投資家との接触機会が増加
事業内容の理解と成長戦略の共有を積極的にすすめる

対話状況の変化

- 国内機関投資家・アナリスト 1on1 ミーティング **増加**
- 海外投資家 問合せ・アポイント **増加**

英語版の決算説明資料の開示
英語版IRサイトをリリース

個人投資家向けIR

個人投資家向け 事業説明会 2025年3月期 初開催

プロネクサス社主催
個人投資家向けIRオンラインセミナーの様子はこちらから
<https://www.youtube.com/watch?v=ig9lDFfR0k>

2024年12月 個人投資家向け説明会を2回開催

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 24

IR活動に関しても強化をしております。機関投資家との対話はもちろん、海外投資家も増加してきましたので、英語版の決算資料の開示、英語版IRサイトもリリースしております。

また、個人投資家様向けの説明会も開始し、12月は2回の開催をしております。機関投資家の方にも個人投資家の方にも丁寧で分かりやすいIRを目指していきます。





続いて、今期2025年3月期の業績予想です。



2025年3月期の基本方針と連結業績予想

GSX
www.gsxc.co.jp

基本方針 売上高拡大は継続、利益率の向上を重要視し
中長期成長を支える経営基盤を強固にする

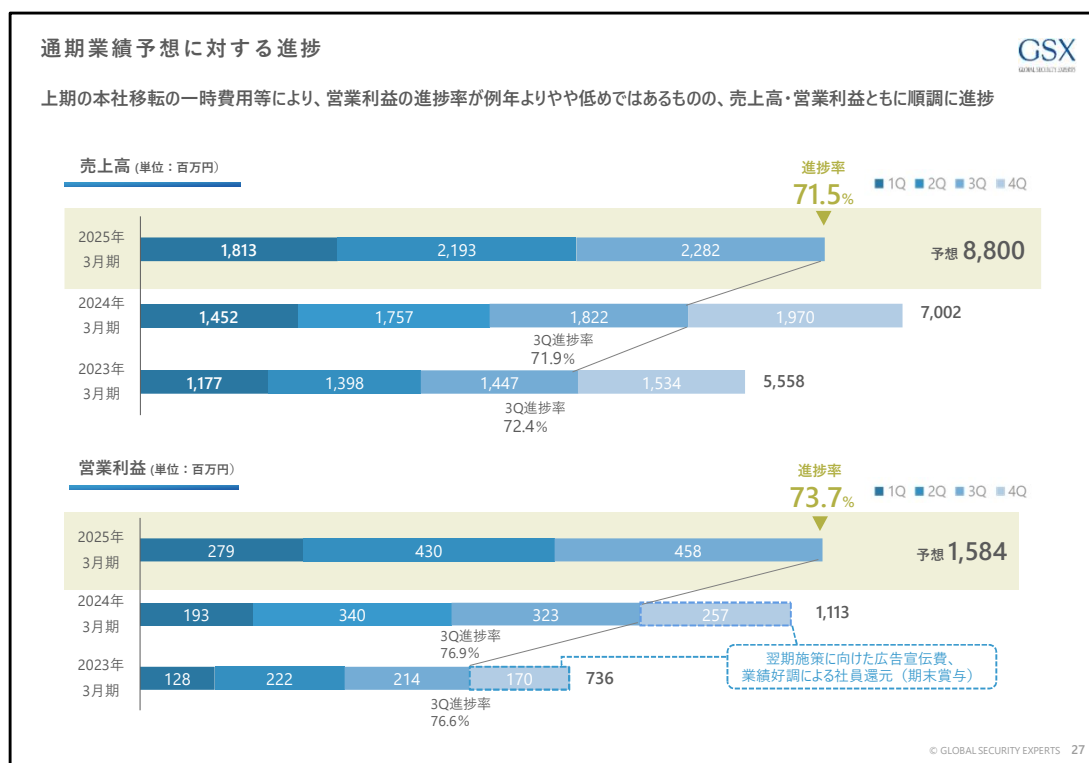
売上高は前期比+25.7% 営業利益率は18.0%を目指す

| (百万円) | 2024/3期 実績 | 2025/3期 予想 | 増減額 | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|--------|--------|
| 売上高 | 7,002 | 8,800 | 1,797 | +25.7% |
| 営業利益 | 1,113 | 1,584 | 470 | +42.3% |
| 営業利益率 | 15.9% | 18.0% | +2.1pt | - |
| 経常利益 | 1,104 | 1,588 | 483 | +43.8% |
| 経常利益率 | 15.8% | 18.1% | +2.3pt | - |
| 当期純利益 | 783 | 1,039 | 255 | +32.6% |
| EPS (円) | 104.84 | 138.34 | 33.50 | - |

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 26

通期業績予想は、売上高88億円、営業利益15億8,400万円です。

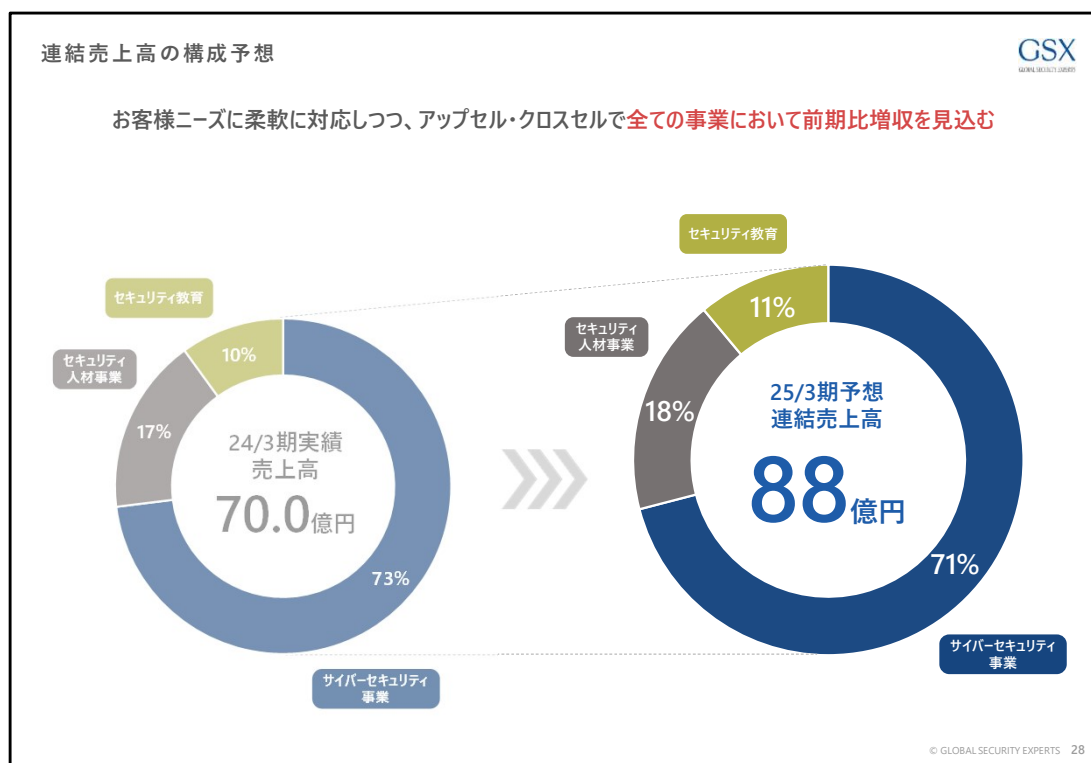




通期業績に対する進捗率です。

当社は上場以来、掲げてきた通期予算を全て達成しております。今期も通期予算達成に対して順調に推移していると考えております。





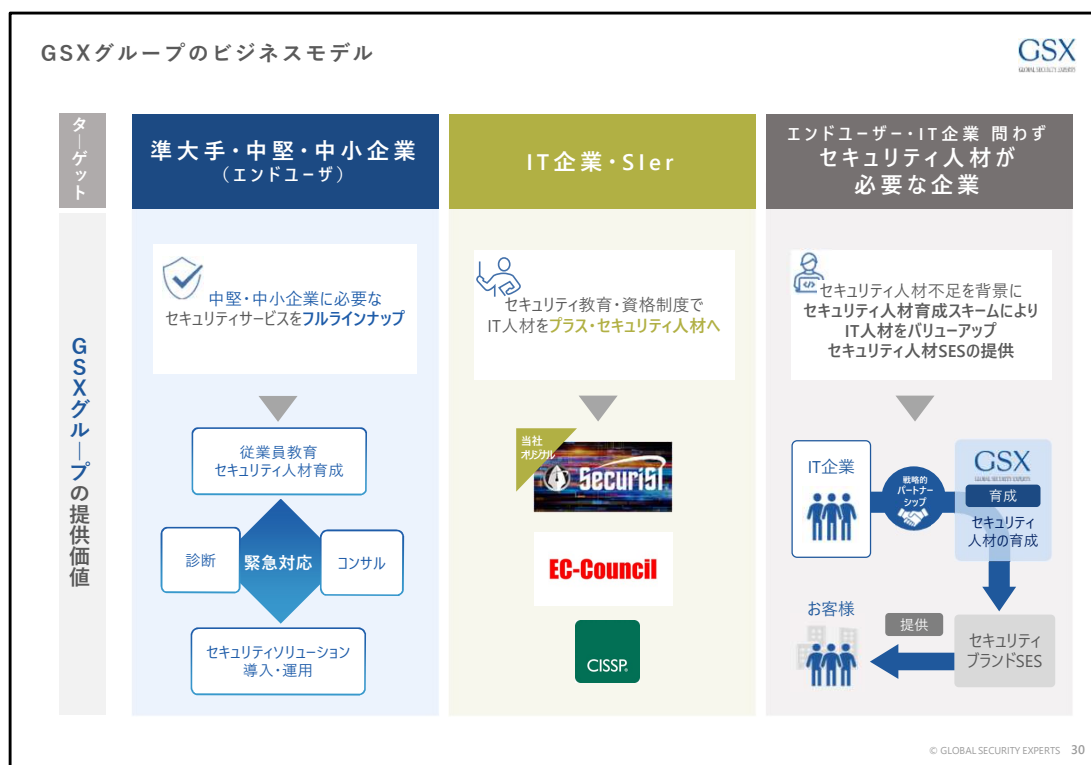
こちらが売上高88億円達成時の構成予想です。
全ての事業において前期比増収を見込んでおります。





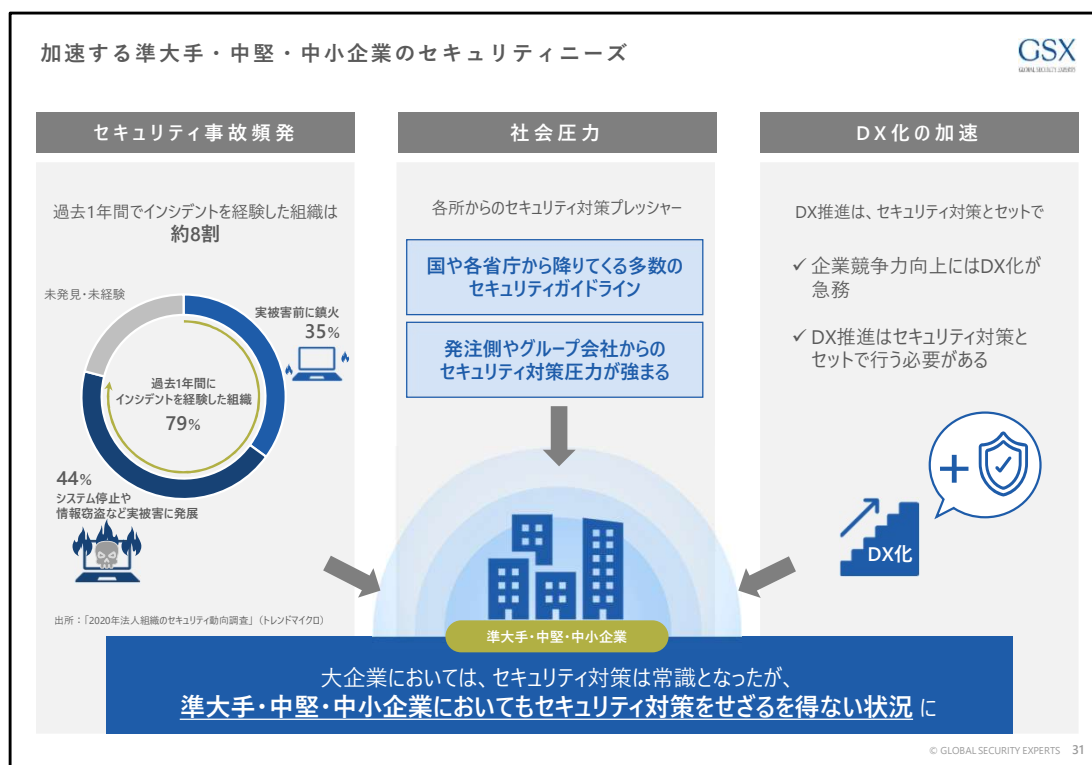
続いて、改めて当社の成長戦略について説明いたします。





3つの事業はそれぞれ成長しており、また今後も成長すると確信しております。



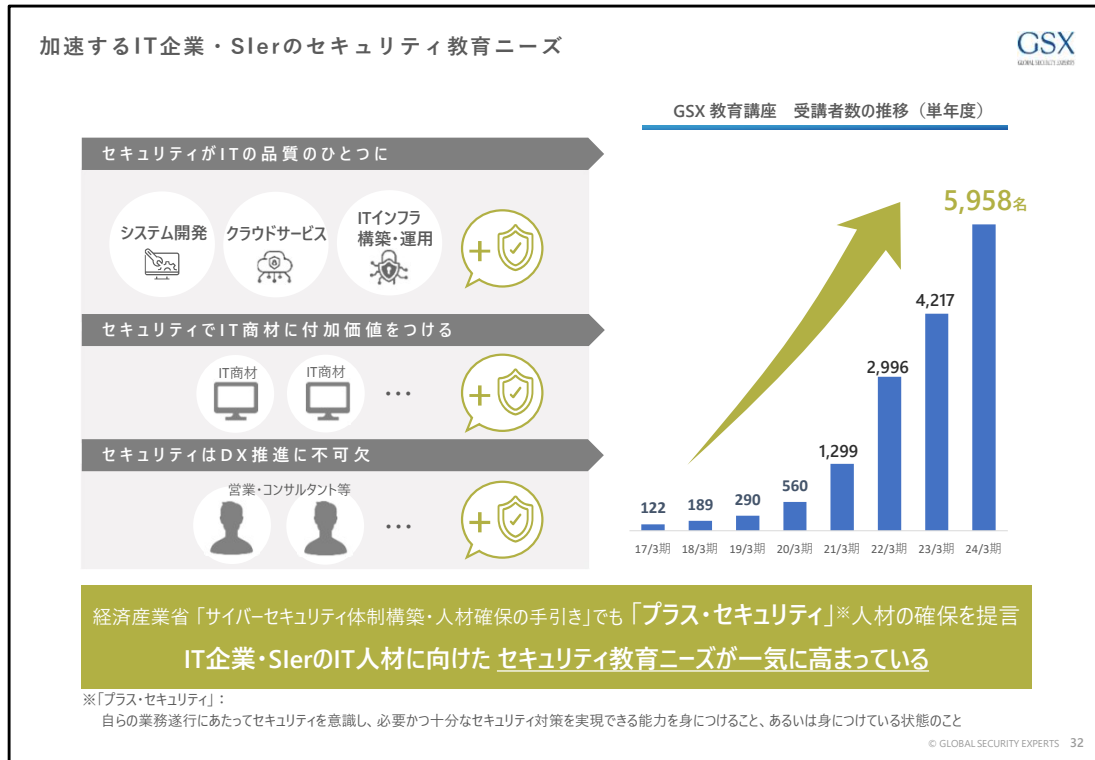


エンドユーザービジネスについてです。準大手・中堅・中小企業のセキュリティニーズは、加速の一途をたどっております。

インシデントの多発、官公庁のセキュリティに対するガイドライン準拠やサプライチェーンに組み込まれている会社へのガイドライン準拠、また世の中のDX化によるサイバーセキュリティ対策の必要性など、様々な面から大企業のみならず、準大手・中堅・中小企業はセキュリティ対策をせざるを得ない状況になっております。

これが当社に対する大きなニーズになっております。



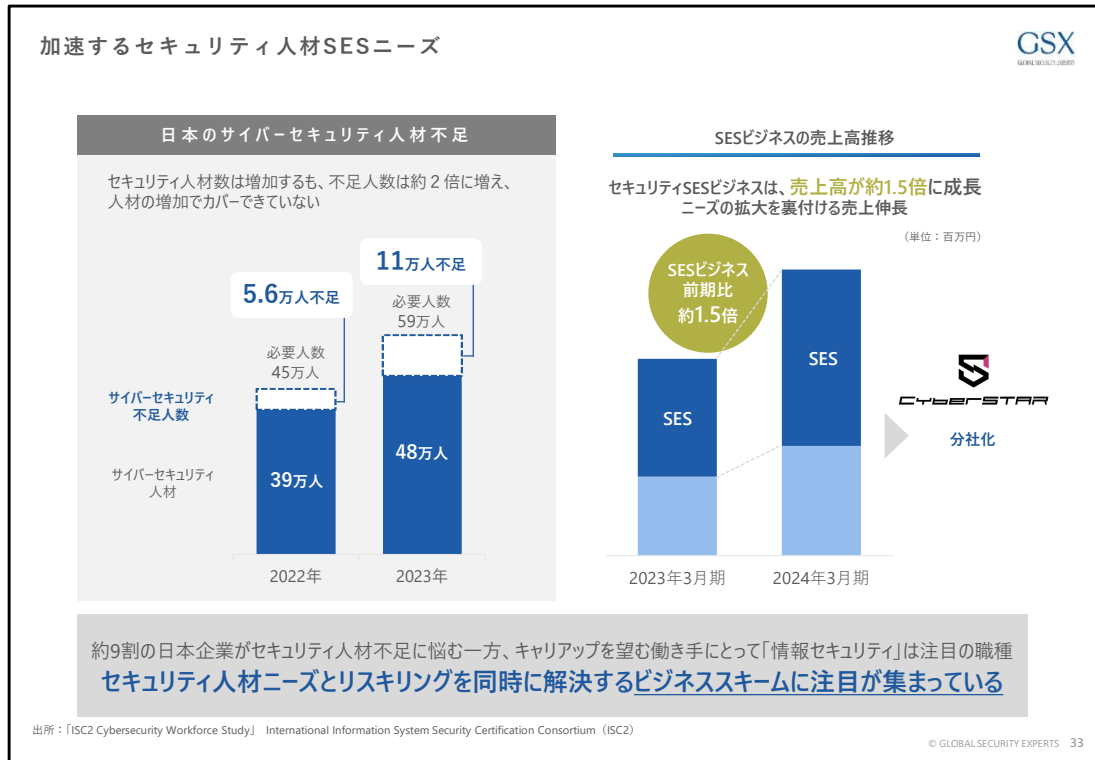


また、IT企業やSlerを対象にするセキュリティ教育は、非常にニーズが高い状況です。

IT企業やSlerは、ネットワーク、アプリケーション開発、クラウドサービスなどのインフラを提供しておりますが、技術者にセキュリティの知見を持たせたいというニーズは飛躍的に上がっています。

IT企業としては、セキュリティ知見を取り入れることで価値を付けて、結果的に単価を上げたい、というニーズが一気に上がっており、受講者がどんどん増えている状況です。





セキュリティ人材事業についてです。
社内にセキュリティ人材を増やしたいと思っている企業は多いと思います。

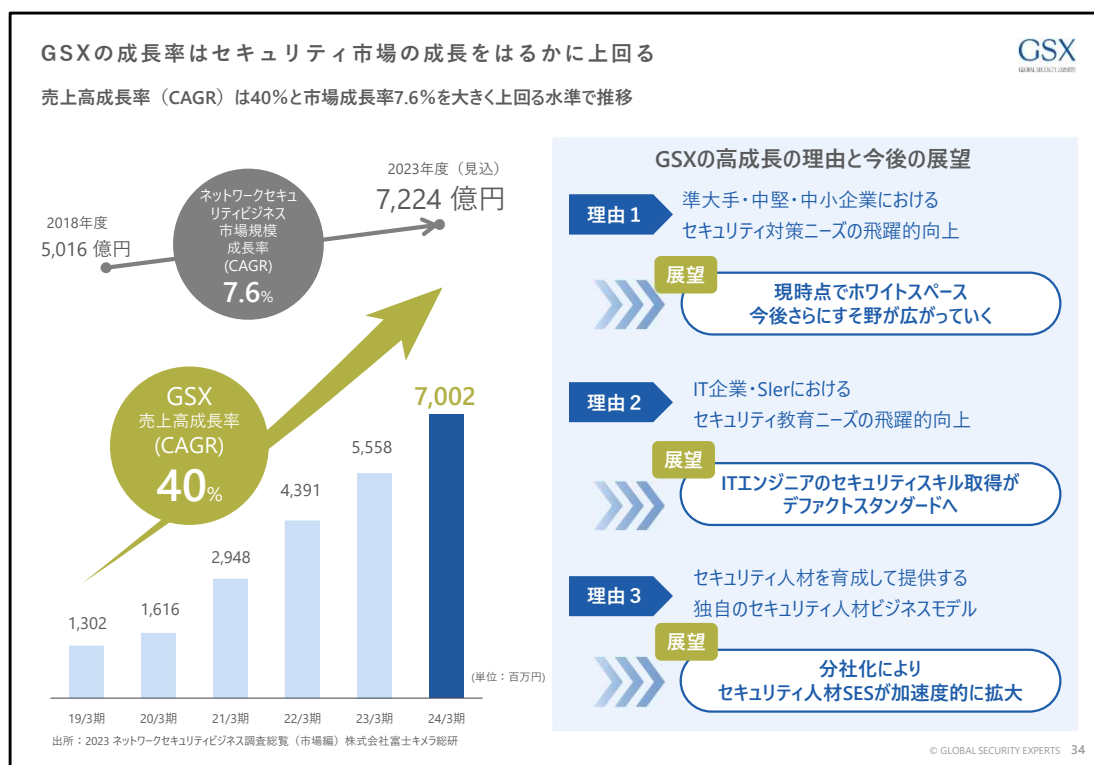
しかし、社員としてセキュリティエンジニアを採用するのは極めて難易度が高い状況です。なぜなら、ただでさえ世の中にセキュリティエンジニアが足りない状況で、セキュリティエンジニアは、セキュリティコンサル会社、セキュリティサービス会社、大手SIerに就職するのが通例となっております。

よほどの大企業でなければエンドユーザーにセキュリティエンジニアが入社することは稀です。また、セキュリティ人材を育成するのは非常に難しく、育成ノウハウやコンテンツも多く必要です。

セキュリティ教育カンパニーとして人材を育てるノウハウを持つ当社は、SIerとタッグを組んで、SIerの人材をセキュリティ人材へとリスクリングして、お客様のニーズに対応します。

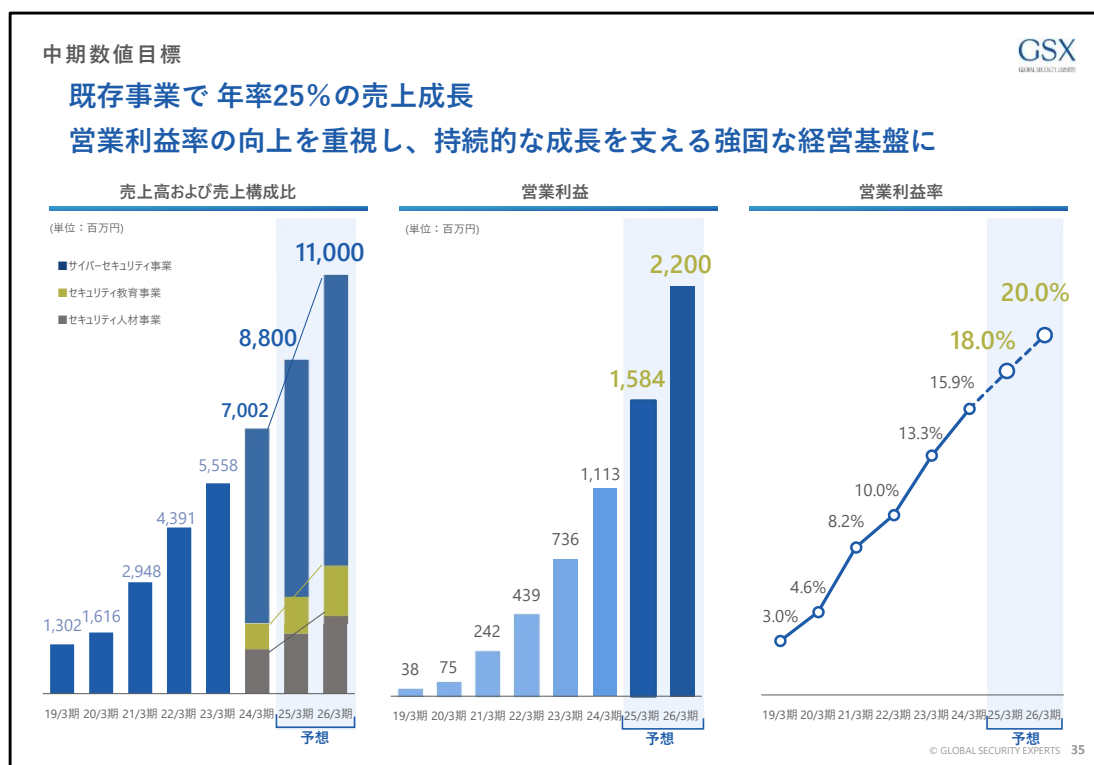
セキュリティ人材の市場は今後も大きく拡大すると考えております。





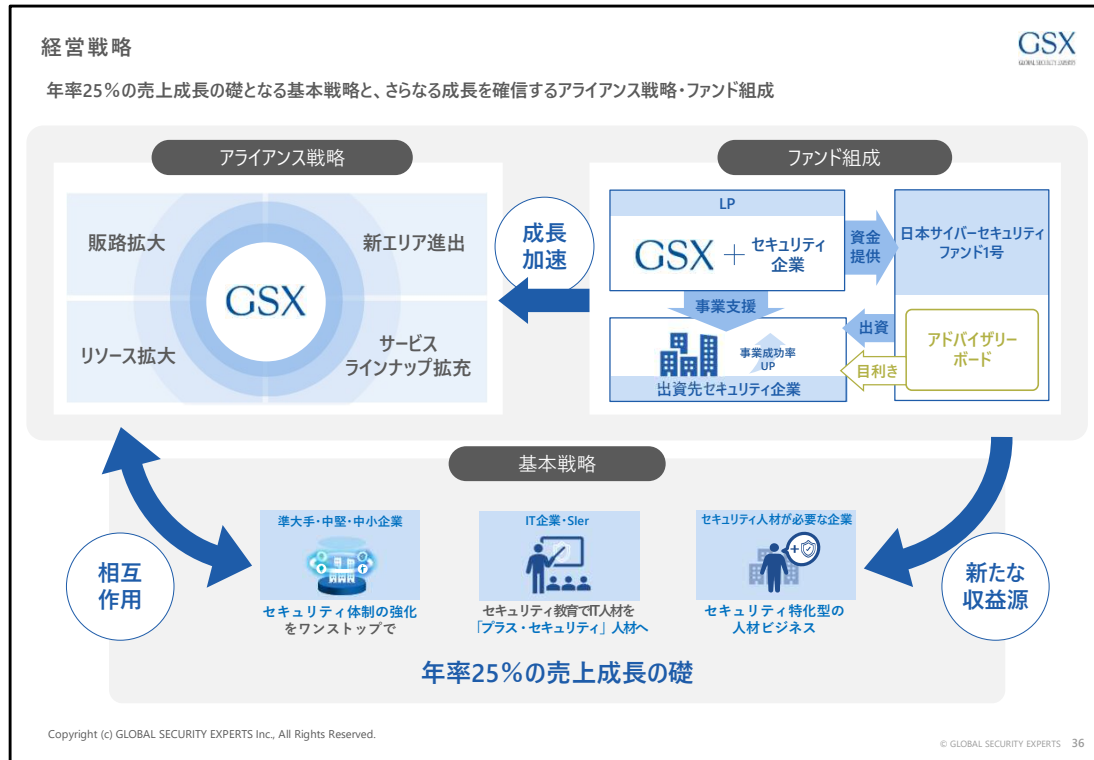
これらの背景のもと、当社は、セキュリティ市場の成長率とは違う伸び方を実現しております。この成長は今後も継続できると思っております。





今期は、公表している中期経営計画の2年目です。資料の売上高88億円、営業利益15.8億円のところでありますが、全て予定通りの成長を遂げており、今後も成長し続けられると確信しております。



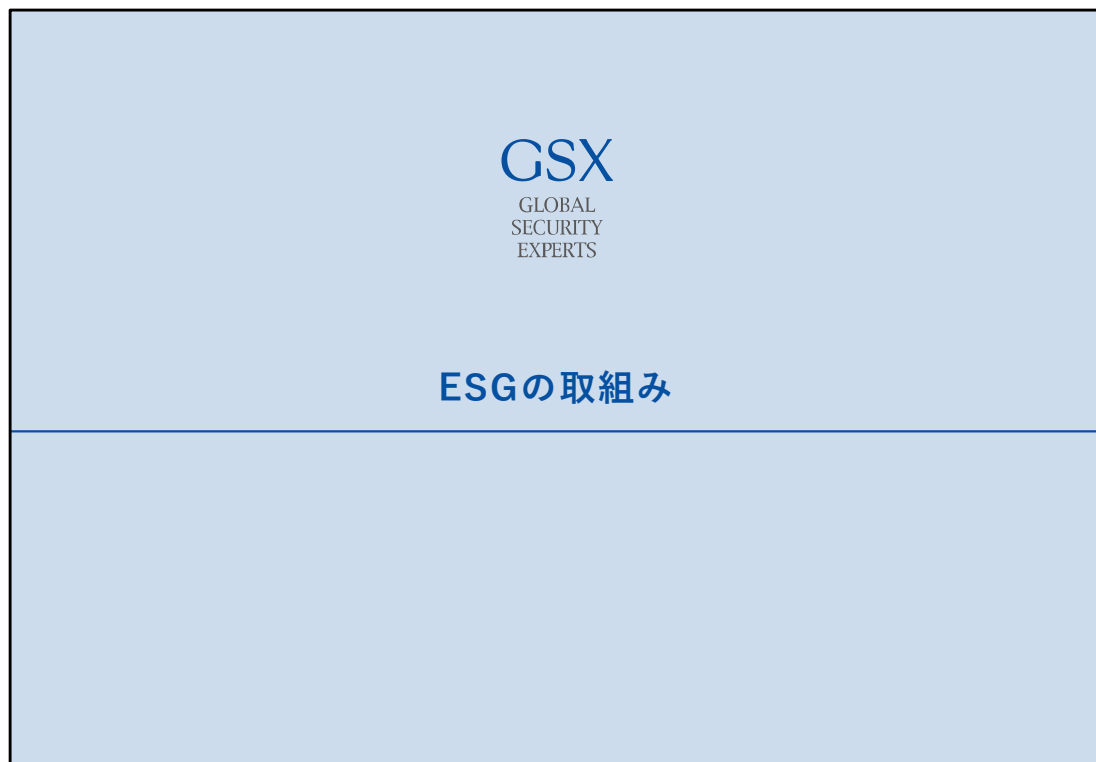


経営戦略としては、資料の下にある基本戦略である三つの事業を合わせて25%の売上成長を遂げること。また、資料の左上にあるアライアンス戦略を積極的に行うことで、25%成長の確からしさ、あるいはそれ以上に成長する余力を作りたいと考えております。

また、発起人として参画している日本サイバーセキュリティファンドへの積極的な関与により、本業以外の収益確保、業界全体のプレゼンス向上や規模向上に繋げ、日本のセキュリティ課題を解決するとともに、様々なリレーションシップにより業界全体を盛り上げたいと考えております。

それが、結果的に当社の成長戦略に繋がり、株式市場に対するプレゼンス拡大にも大きく貢献すると考えております。





最後にESGの取り組みについてお話しして、終わりにしたいと思います。



ESGの取組み

持続可能な社会の実現と企業価値向上の両立を目指し、ESG/SDGsに積極的に取り組みます。

インターネット社会において、サイバーセキュリティの脅威は、人々の命や生活をもおびやかす重要な社会課題のひとつです。またそれを解決できるサイバーセキュリティ人材が圧倒的に不足しています。当社は「サイバーセキュリティ教育カンパニー」として事業を通してたれもが安心して暮らせる豊かな社会の実現を目指します。



E

Environment

- 「気候変動イニシアティブ (UCI: Japan Climate Initiative)」に参加
- BBSグループ温室効果ガス削減目標 (Scope1+2) は、2030年度温室効果ガス排出量30%削減 (2019年度比)、2050年度にはグループの温室効果ガス排出量ネットゼロを目指す
- ペーパーレスの推進



S

Social

- 人権を尊重する取組みを推進
- 人材育成、働きやすい環境づくり
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 健康・安全への取組み
- 地方創生・雇用創出



G

Governance

- コーポレート・ガバナンス強化
- コンプライアンスの遵守
- リスク管理への取組み
- 各種通報窓口の設置
- ステークホルダー・エンゲージメント強化



© GLOBAL SECURITY EXPERTS 38

ESGについてはまだ課題も多くありますが、手掛けていることも多くなって参りました。この辺りはまた通期決算などでご説明する機会があればと思います。

以上、2025年3月期 第3四半期の決算説明を終わらせていただきます。
ありがとうございました。



GSX
GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

Appendix



グローバルセキュリティエキスパートとは GSX
www.gsxc.co.jp

日本全国の企業の自衛力向上を目指し、セキュリティ業界全域で事業を展開する
サイバーセキュリティ教育カンパニー

— Purpose —
全ての企業をセキュリティ脅威から護る
そのために必要なことを惜しげもなくお伝えする

— Mission —
日本全国の企業の自衛力を向上すること

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 40



会社概要



サイバーセキュリティの黎明期に設立したサイバーセキュリティ専門企業

サイバーセキュリティ事業、セキュリティ教育事業、セキュリティ人材事業の3つの事業を展開

※2024年4月1日に、サイバーセキュリティ人材SESを分社化し、100%子会社「CyberSTAR株式会社」設立

| 会社概要 | | 役員一覧 | |
|---------|---|---------------|--------|
| 会社名 | グローバルセキュリティエキスパート株式会社 | 代表取締役社長 | 青柳 史郎 |
| 設立 | 2000年4月※1 | 代表取締役副社長 | 原 伸一 |
| 代表者 | 代表取締役社長 青柳 史郎 | 取締役 | 中村 貴之 |
| 資本金 | 545百万円 ※24/12末 | 取締役 | 吉見 主税 |
| 事業内容 | 準大手・中堅・中小企業向けにサイバーセキュリティ対策をワンストップで支援する「サイバーセキュリティ事業」、IT企業・Sierの人材向けにセキュリティ教育を提供する「セキュリティ教育事業」、セキュリティ人材SESの「セキュリティ人材事業」を展開 | 取締役 | 鈴木 貴志 |
| 事業セグメント | サイバーセキュリティ事業（単一） | 取締役 | 三木 剛 |
| 従業員数 | 連結 197名 単独 166名 ※24/12末 | 取締役（社外） | 近藤 壮一 |
| 主要株主 | (株)ビジネスブレイン太田昭和 兼松エレクトロニクス(株) 丸紅I-DIGIOホールディングス(株) | 取締役（社外） | 岡田 幸憲 |
| | | 取締役（社外） | 上野 宣 |
| | | 取締役（社外 監査等委員） | 井上 純二 |
| | | 取締役（社外 監査等委員） | 古谷 伸太郎 |
| | | 取締役（社外 監査等委員） | 水谷 繁幸 |

注釈 ※1：グローバルセキュリティエキスパートへの商号変更日を設立日として記載

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 41



マネジメントメンバー



代表取締役社長 CEO
青柳 史郎
Shiro Aoyagi



- 1998年4月 : 株ビ-コンインフォメ-ションテクノロジー (現株ユニタ) 入社
- 2009年1月 : 株クラウドテクノロジー取締役セキュリティ事業本部長
- 2012年3月 : 当社入社
- 2012年10月 : 当社 事業開発部長
- 2014年6月 : 当社 執行役員営業本部長
- 2017年4月 : 当社 取締役経営企画本部長
- 2018年4月 : 当社 代表取締役社長 (現任)

取締役
営業本部 本部長 兼 教育事業本部 本部長
中村 貴之 Takayuki Nakamura



- 2001年4月 : ソフトバンク・テクノロジー株式会社入社
- 2019年11月 : 当社入社 営業本部担当部長
- 2023年6月 : 当社 取締役 営業本部 本部長
- 2024年4月 : 当社 取締役 営業本部 本部長
兼 教育事業本部 本部長 (現任)

代表取締役副社長 COO
原 伸一
Shinichi Hara



- 1991年4月 : 株アマダトレックス(現株アマタ)入社
- 2000年4月 : 株アドバンス・リンク代表取締役
- 2012年4月 : 株スタートコム株式会社取締役
- 2018年4月 : 当社入社 執行役員副社長兼経営企画本部長
- 2018年6月 : 当社 代表取締役副社長 (現任)

取締役
西日本支社 支社長
吉見 主税 Chikara Yoshimi



- 2005年5月 : 株パナソニック (現 株EPONコンサルティングサービス) 入社
- 2020年4月 : 当社 取締役 ITソリューション事業本部長
- 2023年6月 : 当社 取締役 西日本支社 副支社長
- 2024年4月 : 当社 取締役 西日本支社 支社長 (現任)

取締役
サイバーセキュリティ事業本部 本部長 兼 サイバーセキュリティ研究所 所長
鈴木 貴志 Takashi Suzuki



- 1992年4月 : 三菱電機 (株) 入社
- 2014年5月 : 当社入社
- 2023年6月 : 当社 上席執行役員
- 2024年6月 : 当社 取締役 サイバーセキュリティ事業本部 本部長
兼 サイバーセキュリティ研究所 所長 (現任)

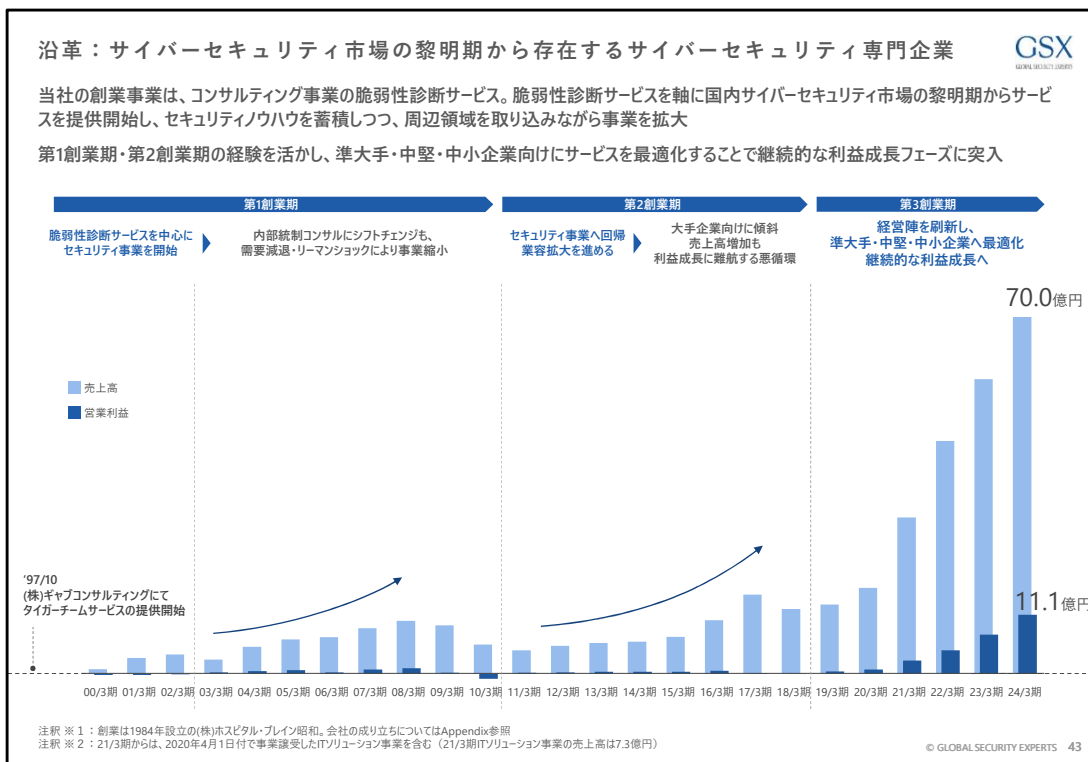
取締役
三木 剛 Tsuyoshi Miki

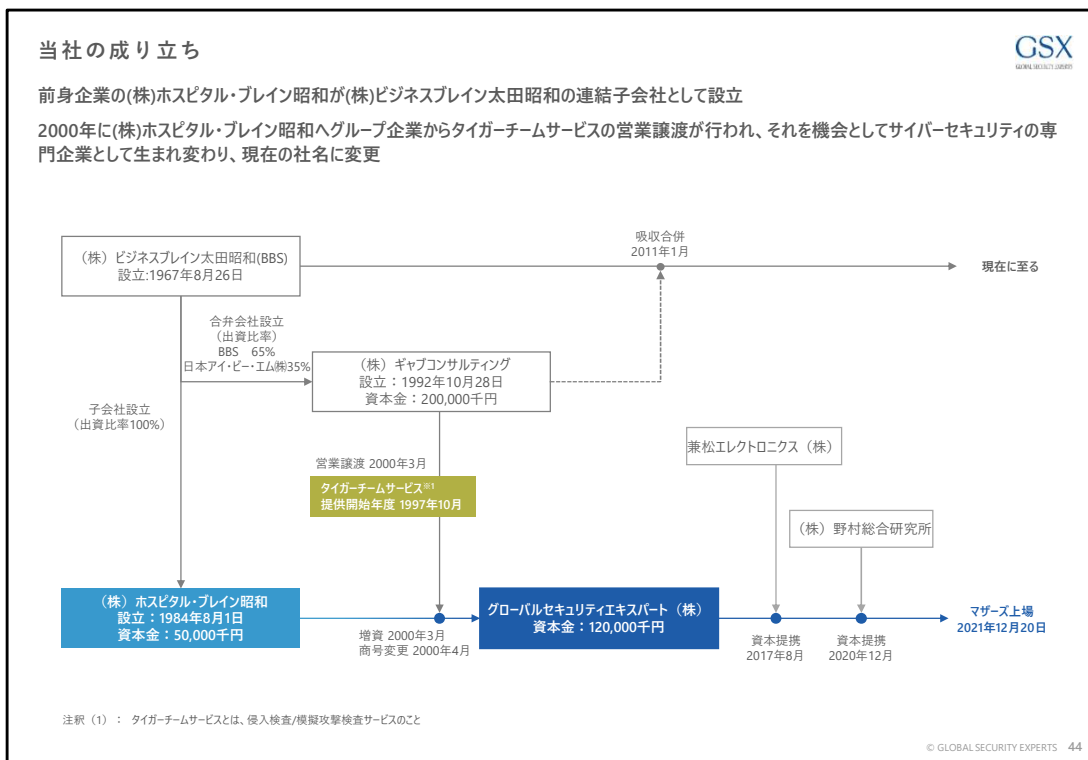


- 2006年10月 : 株神戸デジタルラボ 入社
- 2019年8月 : 当社入社
- 2020年4月 : 当社 取締役 西日本支社 支社長
- 2023年6月 : 当社 常務取締役 西日本支社 支社長
- 2024年6月 : 当社 取締役 (現任)

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 42









GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

セキュリティニーズの違いとサービスの最適化

大企業が「脅威を完全に排除」するためのセキュリティ対策を求めるのに対し、準大手・中堅・中小企業は取引先に対してのレピュテーションリスク排除や自社の業態に適合させた必要最低限のセキュリティ対策を求める

当社は豊富なセキュリティノウハウを蓄積していることで、実効性を保ちながら準大手・中堅・中小企業が求める水準へサービスの最適化ができる

| 企業別のニーズと提供プレイヤー | | |
|-----------------|--|------------------------------------|
| | 大企業 | 準大手・中堅・中小企業 |
| 主な企業ニーズ | セキュリティ脅威の完全排除 | セキュリティの監査証明 自社にとって危険な脅威の排除 |
| 求めるサービス | フルカスタム コンサルティングサービス | ライトコンサルティングサービス (必要なサービスのパッケージ) |
| 提供プレイヤー | 大手シンクタンクグループ セキュリティ専門子会社 セキュリティ専門企業A社(未上場) 総合商社のセキュリティ専門子会社 上場セキュリティ専門企業A社 上場セキュリティ専門企業B社 | GSX GLOBAL SECURITY EXPERTS |

準大手・中堅・中小企業向けにセキュリティサービスの最適化

コンサルティング事業
セキュリティアセスメント

フルカスタム
↓
要件多数

ナカマタムオーバーメイドアセスメント

大企業

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

クイックアセスメント

実績に基づくテンプレート提供 ↓ ノウハウ提供 ↓

準大手・中堅・中小企業

セキュリティソリューション事業 監視サービス

セキュリティオペレーションセンター

24h監視 ↓ レポート提供 ↓

大企業

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

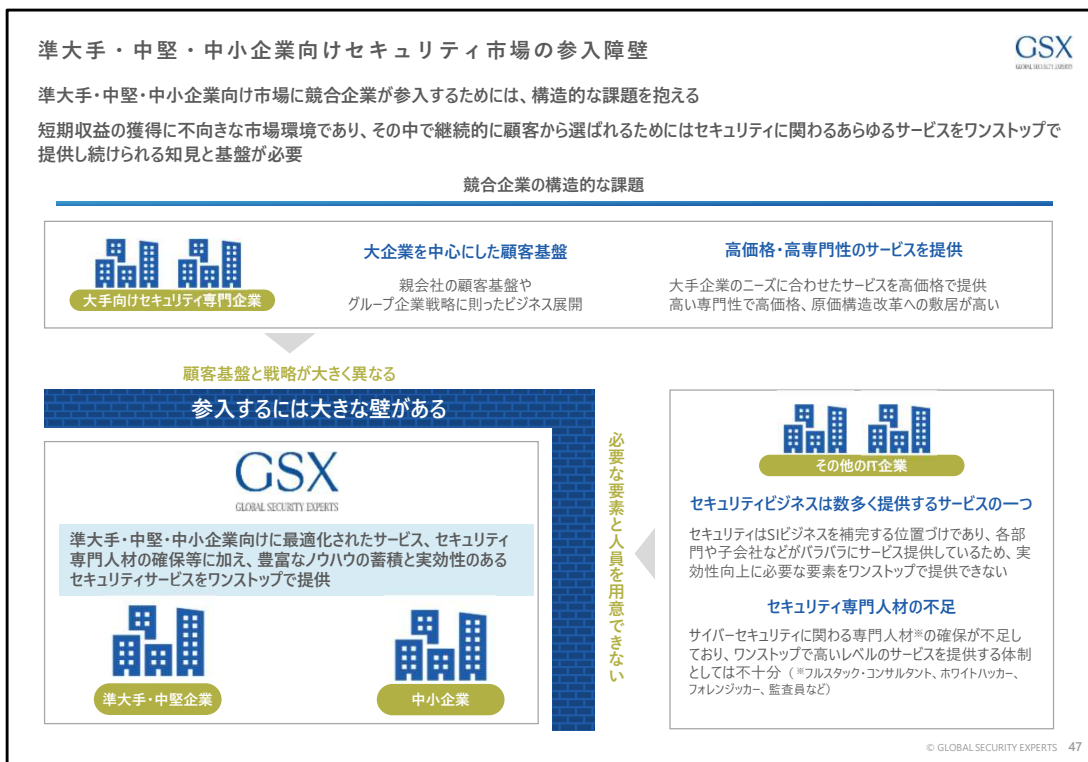
MDR

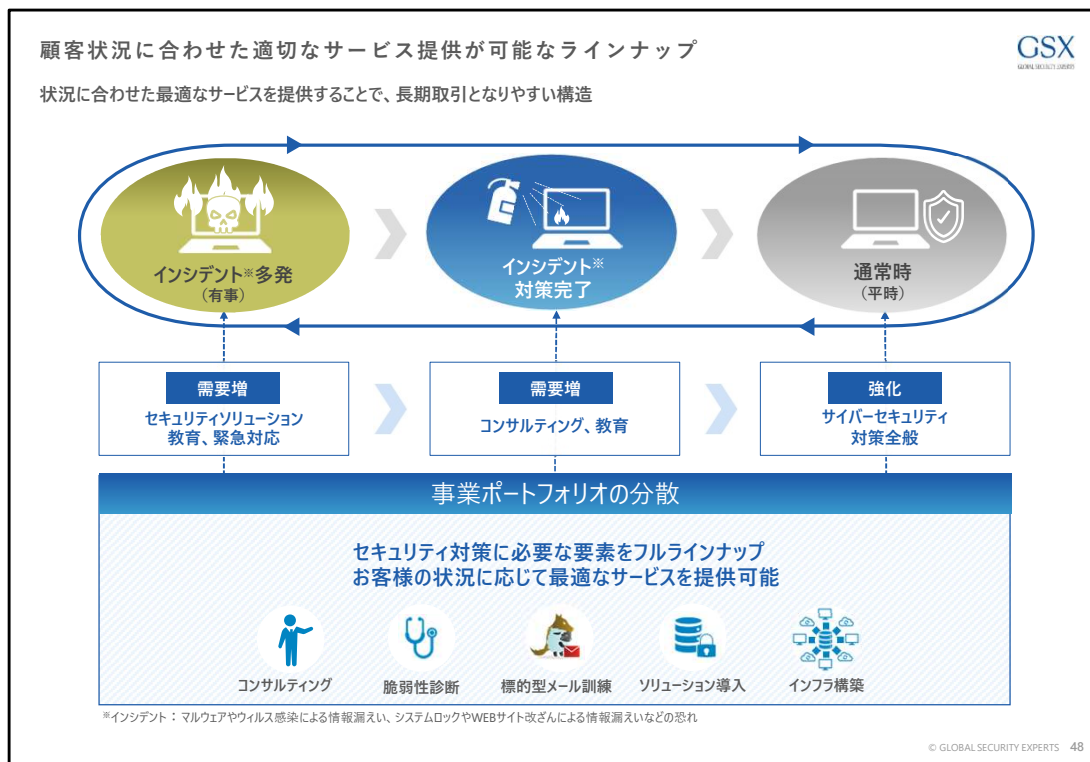
24h監視 ↓ レポート提供 ↓

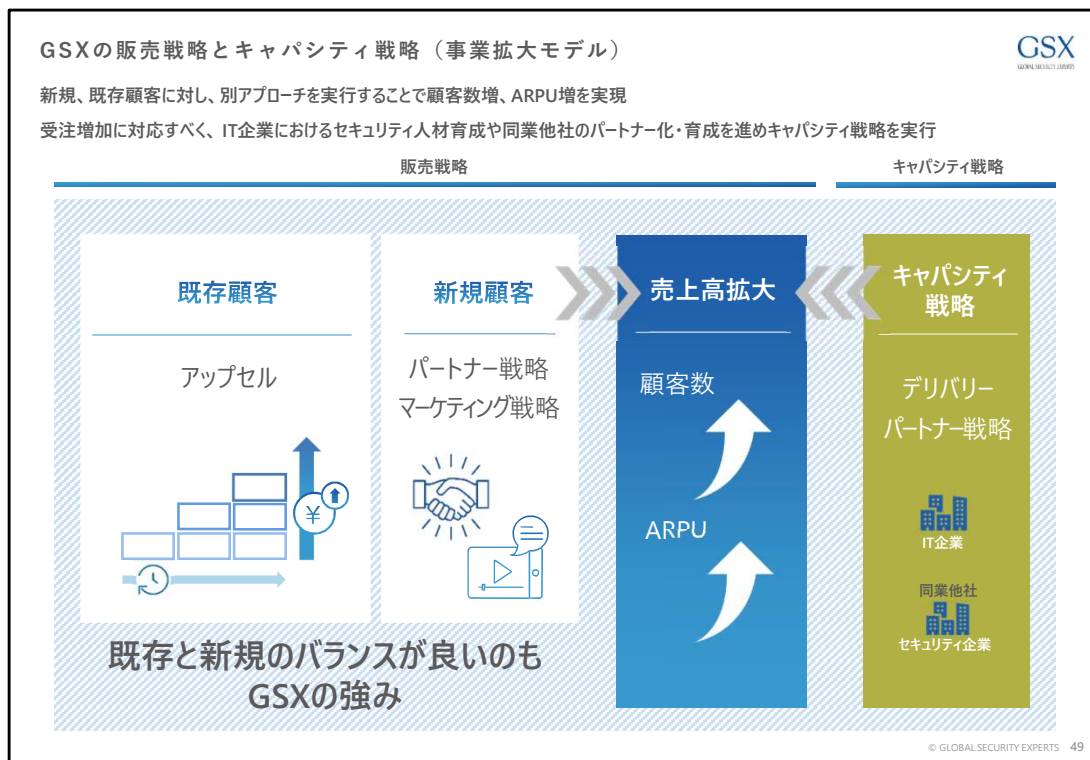
準大手・中堅・中小企業

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 46









販売戦略 既存顧客：アップセル/クロスセル

多面的なサービス提供によってクロスセル・アップセルを実現。既存顧客のARPU[※]は、新規顧客に比べて高く、継続取引が進むことで効率的な事業拡大を実現



事業シナジーを活かした効率的な事業拡大

多角的なサポートを継続的に提供し、
中長期的な取引サイクルを構築

システム運用と事故対応
例：フォレンジック調査など



セキュリティシステムやサービスの導入と運用支援
例：EDR導入

教育と訓練による共通認識の形成
例：メール訓練

セキュリティ対策の状況を可視化
例：アセスメント

コンサルによる組織体制改革
体質改善
例：CSIRT構築

プロセスを網羅しているからできるクロスセル/アップセル

セキュリティ対策に必要な全プロセスを提供しているため入り口を多彩に構えられ、かつ、次の工程を獲得できる。

教育

アセスメント

組織構築・改革

システム導入・運用

| ランサムウェア対策

初回受注 クロスセル/アップセル

インシデント対応

EDR導入

| 組織力強化

初回受注 クロスセル/アップセル

アセスメント

CSIRT構築・訓練

| 診断内製化

初回受注 クロスセル/アップセル

脆弱性診断

教育講座：SecuriST

注釈 ※：ARPU＝顧客単位の平均売上高（Average Revenue Per USER）

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 50



販売戦略：日本全国のIT企業の販売パートナー化

IT企業が持つ顧客基盤とプレゼンスを活用して、ホワイトスペースとなっていた市場を開拓
当社とパートナーになることで、IT企業は自社製品・サービスとのシナジーでセキュリティビジネスやDX関連ビジネスの拡大に繋げられる

GSXの販売パートナーになるメリット

IT企業のニーズ

- DX推進において必要となる新しいセキュリティ商材[※]は単純販売が難しい
- これらを自社で拡販できるように社員を教育してセキュリティビジネスを伸ばし、セキュリティをフックとしてさらにDX関連ビジネス（主要事業であるSI）も伸ばさせたい

※ゼロトラストやマルチクラウドなどの分野

販売パートナー数の推移と全国的拡大

| 期 | 販売パートナー数(社) |
|-------|-------------|
| 16/3期 | 9 |
| 17/3期 | 11 |
| 18/3期 | 16 |
| 19/3期 | 17 |
| 20/3期 | 19 |
| 21/3期 | 26 |
| 22/3期 | 36 |
| 23/3期 | 43 |
| 24/3期 | 44 |

①有償で教育の依頼

②営業・プリセール向け教育を実施
③エンジニア向け教育を実施

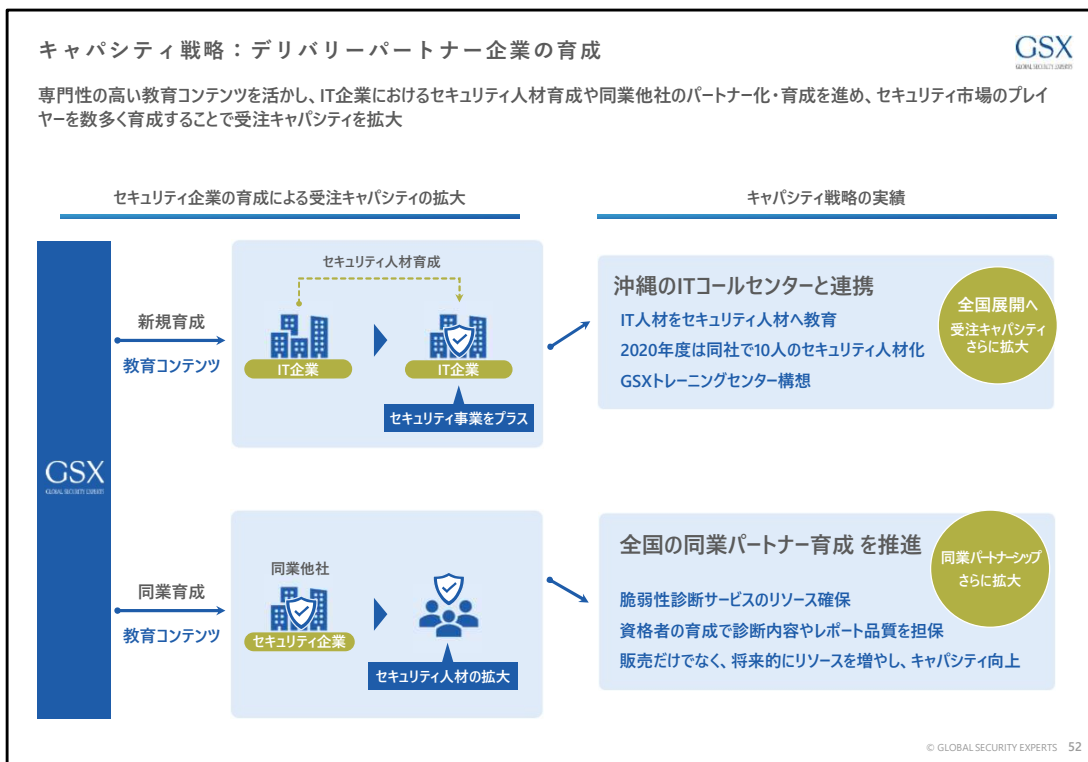
④得た知見を活用して新しいセキュリティ商材と当社サービスを提供

⑤顧客のセキュリティ課題を解決することでDXを促進

日本全国のIT企業のパートナー化

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 51





販売戦略 新規顧客：デジタルマーケティング戦略強化

新規顧客獲得については受注に繋がるデジタルマーケティング施策を実行し、質の高いリードを獲得できるよう効率的・効果的なデジタルマーケティング中心に移行

デジタルマーケティング各分野においてセキュリティに強い媒体を選び、動画などを活用したデジタルマーケティング施策を実行





第三者に示すことができるようになりました

NEWS TV わずか1年で受講者3倍！
GSXのサイバーセキュリティ教育の魅力とは







デジタルマーケティング強化


NewsTV

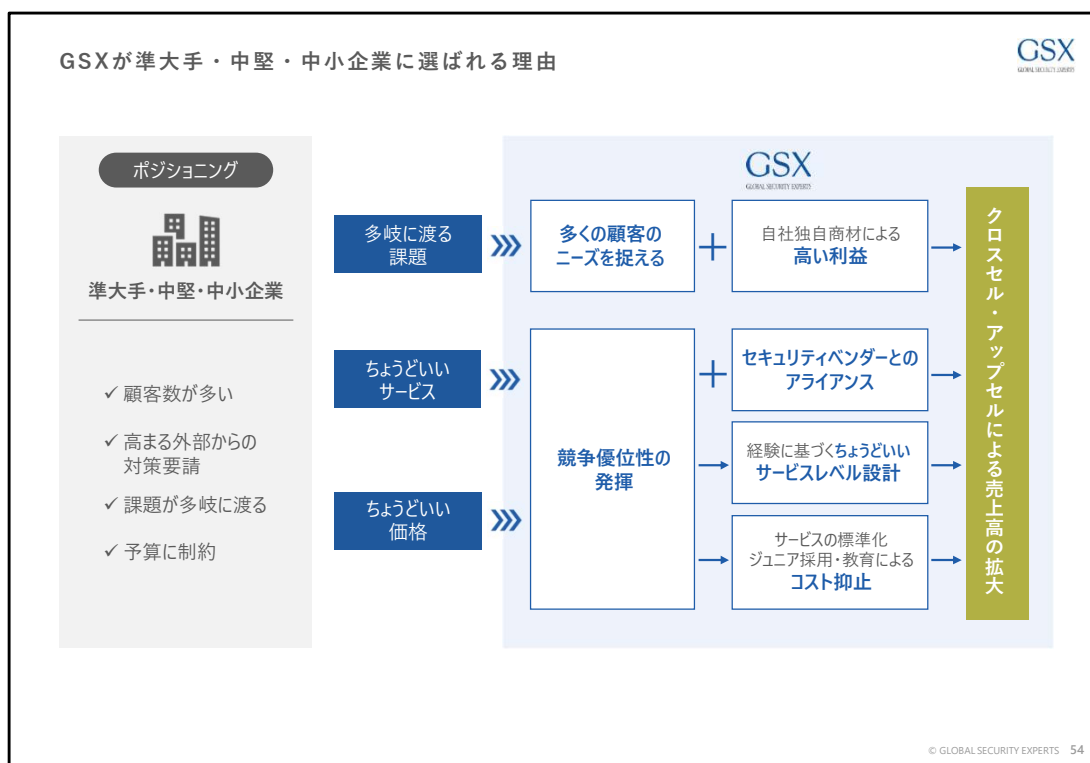

YouTube


Facebook

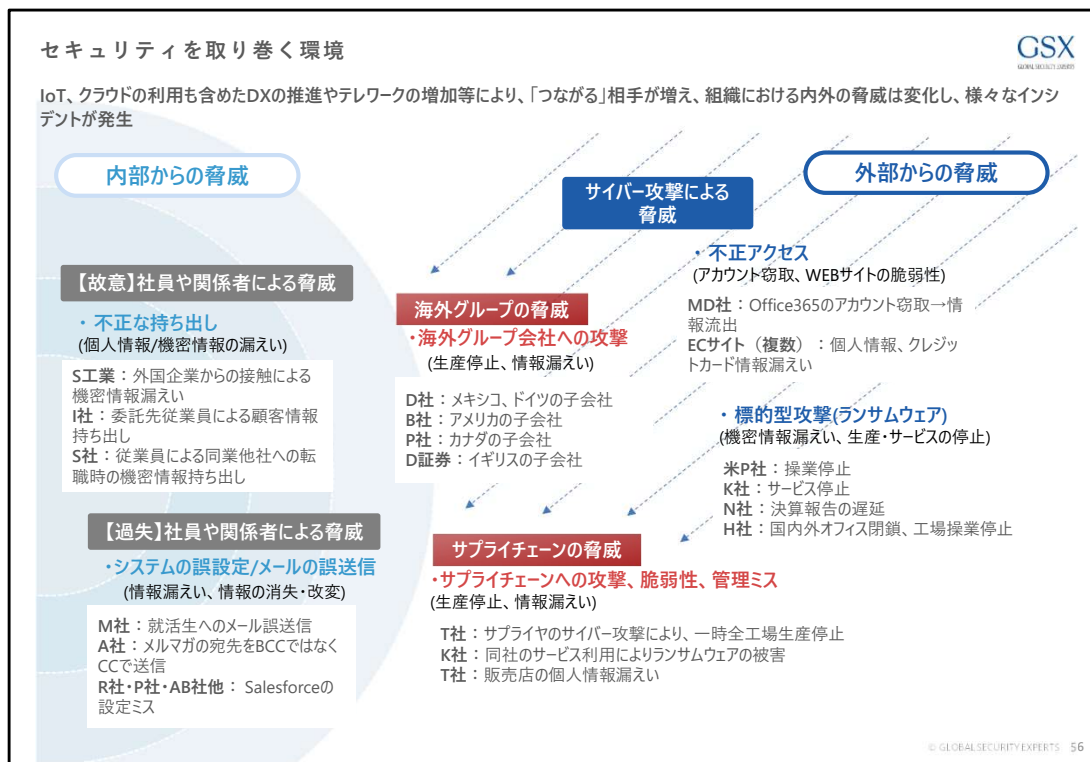

X (旧Twitter)

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 53







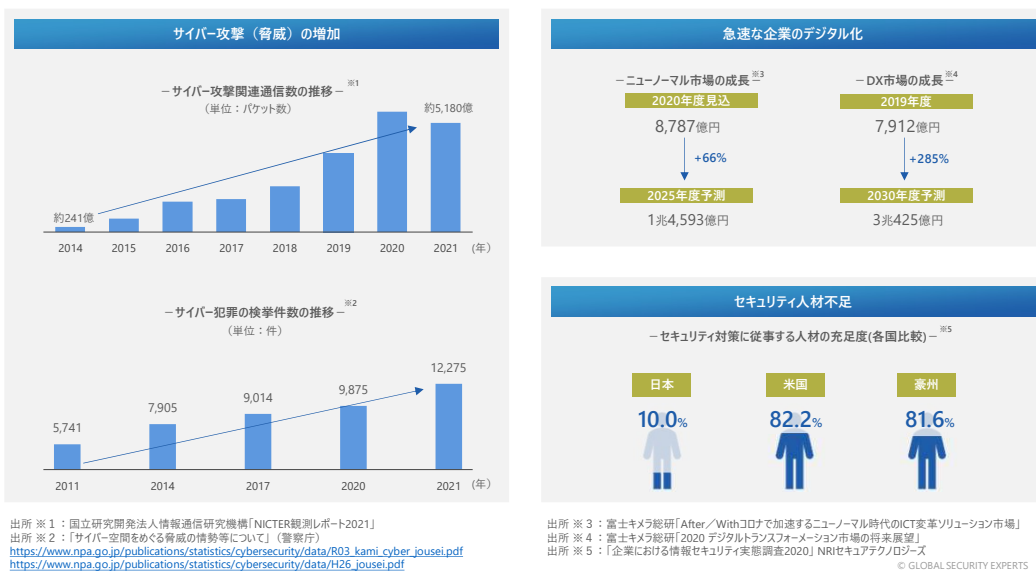


国内サイバーセキュリティ市場を取り巻く市場環境



サイバーセキュリティ市場では、対策需要が増加。また、企業の急速なデジタル化の進展が同市場の成長への追い風一方で、未曾有のセキュリティ人材不足が課題

この市場環境の中で、セキュリティ教育やセキュリティ実装の上流から下流までワンストップで展開する当社へのニーズが高まっている



財務ハイライト



| 決算期 | | 2019/3期 | 2020/3期 | 2021/3期 | 2022/3期 | 2023/3期 | 2024/3期 |
|----------------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | (千円) | 1,302,976 | 1,616,613 | 2,948,871 | 4,391,317 | 5,558,022 | 7,002,941 |
| 経常利益 | (千円) | 37,096 | 73,103 | 239,370 | 414,331 | 737,512 | 1,104,319 |
| 当期純利益 | (千円) | 28,024 | 38,658 | 167,657 | 261,099 | 488,120 | 783,428 |
| 資本金 | (千円) | 100,000 | 270,000 | 291,800 | 485,000 | 529,833 | 544,999 |
| 発行済株式数 | (株) | 5,400 | 10,000 | 10,590 | 3,327,000 | 7,383,000 | 7,629,600 |
| 純資産額 | (千円) | 378,960 | 736,113 | 942,201 | 1,565,478 | 1,720,169 | 2,433,625 |
| 総資産額 | (千円) | 956,504 | 1,712,769 | 2,384,273 | 3,482,070 | 4,124,589 | 6,536,708 |
| 1株当たり純資産額 | (円) | 70,177.92 | 122.69 | 148.28 | 235.27 | 236.26 | 323.09 |
| 1株当たり配当額 | (円) | 800 | 500 | 2,900 | 15 | 14 | 26.21 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | 5,189.68 | 7.28 | 27.35 | 40.46 | 72.20 | 104.84 |
| 自己資本比率 | (%) | 39.62 | 42.98 | 39.52 | 44.96 | 41.71 | 37.23 |
| 自己資本利益率 | (%) | 7.68 | 6.93 | 19.98 | 20.82 | 29.71 | 37.72 |
| 配当性向 | (%) | 15.4 | 11.5 | 17.7 | 18.5 | 19.4 | 25.0 |
| 営業キャッシュフロー | (千円) | - | △284,882 | 767,002 | 328,219 | 594,948 | 713,549 |
| 投資キャッシュフロー | (千円) | - | △76,692 | △240,397 | △294,649 | △212,159 | △2,005,260 |
| 財務キャッシュフロー | (千円) | - | 387,400 | △91,241 | 460,634 | △455,995 | 1,447,820 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | (千円) | - | 216,959 | 652,324 | 1,146,528 | 1,073,322 | 1,229,432 |
| 従業員数 | (人) | 64 | 75 | 110 | 118 | 138 | 154 |

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 58



ご留意事項



本資料は、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の決算、事業内容および業界動向について、グローバルセキュリティエキスパート株式会社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

グローバルセキュリティエキスパート株式会社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、作成時点において利用可能な情報に基づいてグローバルセキュリティエキスパート株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。

また、監査法人による監査を受けていない数値が一部含まれていますが、参考数値として記載しています。



